

令和8年度

マンホールポンプ施設等維持管理業務

仕様書



札幌市下水道河川局事業推進部

総目次

第1章 一般事項

第2章 業務要領

第3章 様式集

第1章 一般事項 目次

1	業務目的	3
2	業務対象施設	3
3	業務内容（項目）	3
4	提出書類	4
5	契約金額の支払い	4
6	業務従事者等の配置及び職務	5
7	保存書類及び貸与図書	5
8	環境に配慮した業務履行	6
9	留意事項	6

第1章 一般事項

1 業務目的

札幌市の下水道施設であるマンホールポンプ施設、藻岩下第2中継ポンプ場、真空ポンプ施設及びきょう雑物除去スクリーン施設（動力機械式）を正常に機能させるため、これらの設備を最適な状態に維持管理するものである。

2 業務対象施設

- (1) マンホールポンプ施設（圧送管路施設を含む）92ヶ所
- (2) 藻岩下第2中継ポンプ場
- (3) 真空ポンプ施設 1ヶ所
- (4) きょう雑物除去スクリーン施設 1ヶ所
- (5) 履行期間中に対象施設の増減がある場合は札幌市の指示による。

3 委託内容（項目）

業務の種類		頻度	概要
マンホールポンプ施設	通常点検	11回/年	施設周囲、制御盤内部及び機器等の点検
	年次点検(P2台)	1回/年	施設周囲、制御盤及びポンプ2台引上げ等の点検
	年次点検(P1台)	1回/年	施設周囲、制御盤及びポンプ1台引上げ等の点検
	緊急対応(A)	出動要請による	機材を要する対応
	緊急対応(B)	出動要請による	機材を要しない対応
	タイマー交換	点検結果による	タイマーの交換
	通報機交換	点検結果による	通報機の交換
	警報設定機交換	点検結果による	警報設定機の交換
	軸受(D3K)交換	点検結果による	D3K用軸受の交換
	軸受(E5K)交換	点検結果による	E5K用軸受の交換
	羽根車(D3K)交換	点検結果による	D3K用羽根車の交換
	羽根車(E5K)交換	点検結果による	E5K用羽根車の交換
人力除雪工	必要に応じて	制御盤前の除雪作業	
藻岩下第2中継ポンプ場	通常点検	11回/年	施設周囲、制御盤内部及び機器等の点検
	年次点検	1回/年	施設周囲、制御盤及びポンプ引上げ等の点検
	緊急対応(A)	出動要請による	機材を要する対応
	緊急対応(B)	出動要請による	機材を要しない対応
真空ポンプ施設	通常点検	11回/年	施設周囲、制御盤内部及び機器等の点検
	年次点検	1回/年	施設周囲、制御盤、ポンプ及びタンク等の点検
	緊急対応	出動要請による	機材を要する対応
	真空罫・封水タンク清掃	1回/年	真空弁付汚水ます及び封水タンク等の清掃
きょう雑物除去スクリーン	通常点検	4回/年	施設周囲、制御盤及びスクリーン等の点検
	年次点検	1回/年	施設周囲、制御盤及びスクリーン等の点検
	緊急対応	出動要請による	機材を要する対応
共通項目	水位計点検	3年に1回	水位計等の計装設備点検及び部品交換
	圧送・真空管路点検	1回/年	埋設管路部、橋梁添架部及び吐出人孔等の点検
	汚水吸引対応	出動要請による	汚泥吸排車による対応
	臨時作業(A)	出動要請による	本市職員から要請する機材を要する作業
	臨時作業(B)	出動要請による	本市職員から要請する軽微な作業
	交通誘導警備A	必要に応じて	市街地(人口集中地区(DID地区)及びこれに準じる地区)及び公安委員会認定路線で作業する場合
	交通誘導警備B	必要に応じて	交通誘導警備員の配置を必要とする場合
	交通誘導警備A(緊急)	出動要請による	市街地(人口集中地区(DID地区)及びこれに準じる地区)及び公安委員会認定路線で緊急に作業する場合
交通誘導警備B(緊急)	出動要請による	交通誘導警備員の配置を緊急に必要とする場合	

4 提出書類

(1) 着手時

受託者は、着手時に次の書類を提出し、業務監督員の承諾を受けること。なお、提出部数は1部とする。

ア 業務着手届 (様式-1)

イ 業務代理人指定通知書 (様式-2)

ウ 業務体制届

エ 年間業務工程表

オ 土地立入証(身分証明書)交付願

カ 業務計画書

少なくとも次の項目を記載すること。

- ・ 現場組織表
- ・ 有資格者一覧表
- ・ 使用機械
- ・ 業務方法
- ・ 緊急連絡体制
- ・ 安全管理計画
- ・ 交通管理計画
- ・ 安全施設標準図
- ・ 環境対策
- ・ 法的届出書の写し

(2) 完了時(毎月)

ア 業務完了届 (様式-3)

イ 業務委託内訳書 (様式-4~6)

ウ 業務報告書

- ・ 業務集計表 (報告書様式-1)
- ・ 各種報告書 (報告書様式-2~19)
- ・ 酸素・硫化水素濃度測定記録表(写し) (報告書様式-20)
- ・ 警備業務日報(写し)
- ・ 業務主任の指示による書類

(3) 随時

ア 作業予定・実施箇所一覧表

イ 臨時作業・緊急対応業務報告書 (報告書様式-2)

ウ 交換整備報告書 (報告書様式-10~11)

エ 業務協議簿 (様式-7)

オ 業務主任が指示するもの

5 契約金額の支払い

単価契約の毎月払いとし、毎月の業務完了後に検査を実施し、合格の場合には出来高に応じた請求をすることができる。なお、1時間当たりの単価契約については、日々の業務時間を合計し、端数が生じた場合は、30分以上は1時間とし、30分未満は切り捨てる。

6 業務従事者等の配置及び職務

- (1) 委託者は、業務担当職員（業務主任）を定め、受託者に書面で通知するものとする。また、その内容を変更したときも同様とする。業務担当職員は受託者に対して常に状況に応じた監督を行うものとし、受託者は、委託者から業務の履行に関する改善指導等がなされた場合には、速やかに措置等をし、結果を委託者に報告しなければならない。
- (2) 受託者は、業務代理人を定め、書面をもって委託者に通知しなければならない。また、その内容を変更したときも同様とする。業務代理人は、委託者との連絡調整及び業務従事者に対する指示及び指導を行う者であり、常に連絡場所及び連絡方法等を明らかにしておかなければならない。
- (3) 資格者の配置
 - ① 受託者は業務に必要な次号の資格者を選任し、配置しなければならない。
 - ア 第1種電気工事士または第2種電気工事士
 - イ 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習修了者
 - ウ 玉掛け技能者
 - エ クレーン運転特別教育修了者
 - オ その他資格を必要とする作業については、その資格を有する者が行わなければならない。
 - ② 資格等の確認
業務主任に①に示す資格が分かる書類を提示し、確認を受けること。
- (4) 土地立入証(身分証明書)
業務従事者は、所定の手続きにより委託者から身分証明書の交付を受けること。
また、他人の土地に立ち入る際には、身分証明証を携帯し、事前に占有者に承諾を得ること。
なお、身分証明書は業務完了後速やかに返却すること。

7 保存書類及び貸与図書

- (1) 受託者は、次号の関係書類を作成し保存しなければならない。
なお、業務主任の指示ある時は速やかにその書類を提出しなければならない。
 - ア 通常点検、年次点検等の月間業務行程及び点検要領書
 - イ 点検回数を確認できる業務日誌及び点検実施一覧表
 - ウ 故障発生時の記録
 - エ 緊急出動時間を確認出来る業務日誌
 - オ 整備実施工程表及び整備要領書
 - カ 整備記録及び履歴
 - キ 酸素欠乏及び硫化水素等の測定記録
 - ク 労働安全衛生管理及び教育の記録
 - ケ 諸官庁への手続きを行った場合は、本書またはその控え
 - コ 委託業務に関する打ち合わせ議事録
- (2) 受託者は、本市から貸与する次号の図書を保管しなければならない。
なお、業務主任の指示ある時は速やかにその図書を返却しなければならない。
 - ア 委託業務対象施設に関する図書（しゅん工図、試験成績書、取扱説明書）
 - イ その他業務主任が必要と認める図書

8 環境に配慮した業務履行

受託者は、受託業務における環境負荷の低減を推進するため、次の事項について積極的に取り組むこと。

- (1) 省資源、省エネルギーの推進
- (2) 環境汚染の危機管理の徹底
- (3) 環境関係法令の遵守
- (4) 自動車使用時における環境負荷の少ない車両使用及びアイドリングストップなどの環境配慮運転
- (5) 業務に係る用品等のグリーン使用品（エコマーク商品等）の使用
- (6) 業務従事者に対する上記の内容についての適切な教育と訓練

9 留意事項

- (1) 受託者は、労働安全衛生法に基づき業務従事者の労働安全衛生の管理及び教育を適切に行うこと。
また、その記録を作成し保存すること。
- (2) 受託者は、道路交通法を遵守し、交通事故の防止に努めること。
また、交通規制を必要とする場合は、その方法について所轄警察署と協議し道路使用許可を得るもと
し、安全施設、交通誘導警備員を配置し危険防止に努めること。
- (3) 受託者は、人孔内作業を実施する場合は、降雨時は作業を中止し、また降雨が予想される時は、天候
に十分注意を払い安全管理に努めること。
- (4) 受託者は、除雪作業時の安全管理に充分注意すること。
- (5) 業務を遂行するために必要な電気、水、電話等の本市設備の使用を認める。
ただし、必要最小限の使用とし、これに係る料金は本市負担とする。
- (6) 監督官庁等への所手続き
法令で定められた各種監督官庁及び関係会社等に対する報告、許認可申請、検査等の手続き及び事務
については、委託者の指示に従い本市名義で受託者が代行するものとする。なお、これに要する費用は
特に別途定めるものを除くほか受託者の負担とする。
- (7) 業務従事者の服装
業務従事者は、業務を遂行するために適切な服装をし、受託者の職員であることを明示する社章、名
札等を装着すること。

第2章 業務要領 目次

1	業務の範囲	8
2	業務区分	8
3	提出書類	9
4	作業上の共通注意事項	10
5	通常点検実施要領	11
6	年次点検実施要領	14
7	緊急対応要領	18
8	交換整備概要	22
9	交通誘導警備員	22

第2章 業務要領

1 業務の範囲

- (1) 本章「業務要領」に基づく維持管理（点検、試験、記録及び整備等）及び報告に係る一切の業務とする。
- (2) 点検及び整備等により発生する廃オイル等は、適正に取り扱うこと。
- (3) 管きょ及びマンホール本体並びに建設物等に係る破損等の修繕は業務の範囲外とする。ただし、受託者の原因による破損等の修繕は受託者の責任とする。

2 業務区分

	項目	内容
1	通常点検	各ポンプ施設は、月に1回点検する。(年次点検を実施する月を除く)
		スクリーン施設は、2か月に1回点検する。(年4回、実施月は業務主任と協議)
		業務主任が確認した年間業務工程表に基づき実施。新設ポンプ施設については、逐次組み込む。
		点検要領については「5 通常点検実施要領」による。
2	年次点検	各ポンプ施設は、年1回、5月から10月の間に実施する。
		スクリーン施設は、年1回実施する。(実施月は業務主任と協議)
		水位計点検は、1か所当たりの点検周期を3年とし、全施設数の1/3程度を毎年実施する。
		各圧送・真空管路は、年1回、5月から10月の間に実施する。
		点検要領については「6 年次点検実施要領」による。
3	緊急対応	自動通報機からの受信による対応(電話等からの受信「停電・設備故障・水位異常高等」)
		業務主任からの指示による対応(市民からの通報・その他)
		緊急対応は以下に分類される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急対応(A):業務主任からの指示でその都度対応。 ・ 緊急対応(B):自動通報機の受信内容により業務主任があらかじめ指示し対応。 ・ 汚泥吸引対応:汚泥吸排車による作業の必要が生じた場合の対応で、使用する条件については業務主任と事前に確認が必要。
		※ 基本的に対応した時間による。
		対応要領については「7 緊急対応要領」による。対応要領については「7 緊急対応要領」による。
4	交換整備	タイマー交換、通報機交換、警報設定機交換、ポンプ:軸受交換(D3K・E5K)・羽根車交換(D3K・E5K)
		計画的または緊急的な対応の後に、業務主任と確認をした交換整備が必要な場合の対応。事前に対象施設の整備実施予定及び整備要領書を作成し、業務主任と協議し、承諾を得ること。
		概要については「8 交換整備概要」による。
5	人力除雪工	積雪により点検等の支障になる場合は除雪を行う。
6	臨時作業	上記に規定する作業以外が発生した場合の作業 ※ 臨時作業(A):業務主任の指示がある機材を要する作業 ※ 臨時作業(B):業務主任の指示がある軽微な作業

※ 点検（通常・年次）箇所については、業務主任の指示によるものとする。

3 提出書類

	項目	書類名	特記事項
1	通常点検 緊急対応 臨時作業	業務集計表(報告書様式-1)	マンホールポンプ施設、藻岩下第2中継ポンプ場、真空ポンプ施設とスクリーン施設は別々に集計する。
		臨時作業・緊急対応業務報告書 (報告書様式-2)	時間および対応区分を確実に記入する。
		破損箇所一覧表 (報告書様式-3)	制御盤とその周囲の状況を記入する。
		通常点検日一覧表 (報告書様式-4)	点検実施日を記入する。
		通常点検業務日報 (報告書様式-5~9)	緊急対応の有無は確実に記入する。
		酸素・硫化水素濃度測定記録表 (報告書様式-20)	本表を保管し、コピーを提出する。
		業務写真	・全箇所の点検状況及び全景撮影 ・異常箇所及び対応後の状況撮影
2	年次点検	年次点検総括報告書 (報告書様式-12~13)	点検順序の順番に記入する。
		年次点検業務日報 (報告書様式-14~19)	計装設備点検の項目も含んでいる。
		酸素・硫化水素測定記録表 (報告書様式-20)	本表を保管し、コピーを提出する。
		業務写真	・全箇所の点検状況及び全景撮影 ・異常箇所及び対応後の状況撮影
		※ 報告書は毎月末日に締め切り、成果として提出する。	
3	交換整備	交換整備報告書 (報告書様式-10~11)	タイマー、警報設定機、自動通報機、軸受、羽根車の交換業務に用いる。
		酸素・硫化水素測定記録表 (報告書様式-20)	本表を保管し、コピーを提出する。
		業務写真	・全箇所の点検状況及び全景撮影 ・異常箇所及び対応後の状況撮影
		その他仕様書等	交換整備に使用した主要部品の規格や仕様が確認できる書類を提出する。
4	共通	業務写真	施設毎の状況写真

4 作業上の共通注意事項

	項 目	内 容
1	路上安全対策	<p>マンホール内の点検等の場合については、安全施設および監視人を配置する。</p> <p>路上、歩道上ともに作業中の標示を確実にする。</p> <p>車両及び標示板には、回転灯を点灯し運転者、歩行者が確認できるようにする。</p> <p>作業中、片側通行等の標示板を設置する。なお、標示板には業務目的がわかるように表示する。詳細は業務主任と協議すること。</p> <p>交通誘導警備員を配置する。(大きな動作にて注意喚起する)</p> <p>歩道上での作業は、歩行者の通路を確保し、安全を確保する。</p>
2	マンホール内点検安全対策	<p>マンホール蓋を開ける場合は専用の工具を使用する。</p> <p>マンホール内に入る場合は酸素・硫化水素等の濃度の測定を行い、異常のないことを確認し中に入る。(測定は酸素欠乏作業主任者 II 種)</p> <p>危険と思われる場合は送風機にて換気し、再度測定して安全を確認する。</p> <p>マンホール内に入る時は、落下防止策をとる。</p> <p>マンホール内での電気関連作業は電源を確認し、配線作業中に通電させないようにし、感電事故を防止する。</p> <p>マンホール内への重量物搬入、搬出作業中は、作業員はマンホール内に入らないこと。</p>
3	作業上の注意事項	<p>点検については、2名以上で実施すること(単独作業は禁止)</p> <p>クレーン作業は、有資格者が行い合図を確実にし、吊り荷の下には絶対に立ち入らぬこと。</p> <p>ポンプを引き上げるときは、切替えスイッチを手動位置にしてから電源を落とし、引き上げるポンプの配線を外す。(感電事故防止のため、必ず実施すること)</p> <p>ポンプを引き上げる場合は、ケーブルを傷つけないように十分に注意すること。</p> <p>取り外した部品および工具等は整理整頓し、マンホールの側に置かないようにする。共同作業では、お互いに確認し合い行う。</p> <p>ポンプを設置する時は、必ず吐出口から漏れがないことを確認する。</p> <p>設置後、ケーブル、チェーンは余分なたるみがないようにする</p> <p>作業完了時は工具、部品等の置き忘れがないよう確認する。</p>
4	交換整備	<p>整備後は、必要な設定を実施し、正常な動作の確認を行うこと。</p> <p>必要な部品及び資材について、備消耗品は本業務の範囲とし主要部品は範囲外とする。</p> <p>備消耗品： 工具類・測定機器類・ウエス・ホース類・ケーブル類・パッキン類・ボルト・ナット・油脂類・作業用具類・燃料類・照明類・衛生用品・事務用品類等とする。</p> <p>整備業務により発生する廃オイル等は、適正に取り扱うこと。</p>
5	作業終了時の確認	<p>自動通報機の確認(スイッチの位置の確認・警戒位置)</p> <p>ポンプの電源の確認 ブレーカーの投入状態 切替えスイッチの確認(自動位置)</p> <p>故障が回復した場合は、復帰ボタンで復帰する。また、ランプテストをして警報ランプの点灯確認を行う。</p> <p>施錠を確認する。</p>

※ その他、事故、不良の発生の無いように努め、業務主任と協議、確認を実施すること。

5 通常点検実施要領

(1) 各施設共通

① 施設周囲の目視点検

	点 検 箇 所	点 検 内 容
1	マンホール蓋付近	陥没・蓋の破損・溢水の有無・蓋鳴り・摩耗
2	現場制御盤外部、周囲	陥没・破損・倒壊等の有無、塗装部剥がれ
3	引込柱・引込線・周囲	陥没・破損・倒壊・線に異物付着の有無
4	制御盤アーム・固定バンド	アーム・バンドの破損、ボルトの緩みの有無
5	取引計器盤、保安器箱	破損等の有無、電流値の確認及び記録
6	雨量計	損傷の有無の確認、内部の清掃(藻岩下第2中継ポンプ場のみ)
7	建屋の外観	フード・窓・ドアの破損等の有無(もみじ台・山本真空ポンプ所・藻岩下台2中継ポンプ所のみ)

② 現場制御盤内部及び機器の点検

	点 検 箇 所	点 検 内 容
1	盤内の汚損状態	塵、埃、破損等の有無(汚れている場合は清掃)
2	電源の投入状態	電圧計(200V±10%)を確認、自家発電切替インターロック確認
3	操作スイッチ類	取付状態・損傷等の有無、各ブレーカーの投入状態確認
4	水位計	水位指示計の動作確認、警報設定器の動作確認(山本真空ポンプ所除く)
5	電流計	定格電流値と負荷電流値の確認及び記録
6	アワーメーター	運転時間・回数の確認及び記録
7	自動通報機	電源の投入状態の確認、通報状態の確認、破損等の有無
8	電話機	通話状態の確認、破損等の有無
9	配線、端子台の状態	端子の緩み、配線の断線、配線の損傷
10	各スイッチ類	通報機は警戒位置、運転スイッチは自動位置
11	記録計	動作確認・用紙交換 (山本真空ポンプ所のみ)
12	履歴データ	作動状況の履歴データ記録を回収 (スクリーン施設のみ)

③ 建屋内部および機器の点検 (共通)

	点 検 箇 所	点 検 内 容
1	室内設備・機材	破損、異音、異臭等
2	照明器具	破損、球切れ、異臭等
3	水道管	損傷、水漏れ等(冬季は水抜き)
4	電灯分電盤	損傷、断線、変色、異臭、スイッチ等
5	吐出管	損傷、チャッキバルブ、接続部の緩み、漏れ等
6	電気設備	接地端子盤の外観(損傷・腐食・表示等の確認)

7	換気設備(年2回、藻岩下第2中継ポンプ場のみ)	ベルトの張り具合・亀裂等の痛み点検
		運転中における異音・異常振動・異常加熱の有無

④ 施錠等

点 検 内 容	
1	消灯・施錠は確実にを行ったか
2	異常箇所については、写真撮影(黒板にポンプ所名、異常箇所名、点検日を記入)を行う

(2) ポンプ施設

① ポンプ本体

点 検 箇 所	点 検 内 容
1 手動操作による揚水 確認(ポンプ運転) (No.1・No.2を交互)	<ul style="list-style-type: none"> ・通常時の負荷電流値との比較確認 電流が高い場合の処置～ポンプに異物が咬んでいるので除去 釜場に土砂等が堆積している可能性があるため、点検・除去 電流が低い場合の処置～ポンプのエア噛みなのでエア抜き ・水位指示計により水位の下がり进行比较確認 どちらかが遅い場合 ～遅くないポンプのチャッキ弁の異物咬み込みの疑い ～遅いポンプの設置不良 運転時間計の記録を比較確認

② 自家発電設備

点 検 内 容	
1 始動前	冷却水の量 (ラジエーターにいっぱい)
	潤滑油の量 (検油棒の上限目盛り)
	バッテリースイッチ (ONの状態)
	充電ランプ (点灯)
	制御電源ランプ (点灯)
	Vベルトのタワミ (ベルトの中央を指で押さえて10～15mm)
	水・油等漏れは無いか
	燃料タンクの油量
	バッテリーの状態
2 始動後	潤滑油圧力 (1.0kg/cm ² 以上)
	充電ランプの消灯
	発電ランプ点灯
	エンジン各部の水・油漏れ
	エンジン各部の異音
	各部ボルト・ナットの緩み
	吸・排気口 (モータダンパーの動作)
暖機運転後の負荷運転	

(3) 真空ポンプ施設

	点 検 箇 所	点 検 内 容	
1	ポンプ室 建屋内	室内の設備及び機材	破損・異音・異臭等がないか
		照明器具の状態	破損・球切れがないか
		パネルヒーター	故障・設定温度の確認
		配管及び集水タンク	漏れ・破損がないか
		電灯分電盤	損傷・断線・変色・異臭・スイッチの確認
		1階の吸気ファン・電動シャッター	動作確認
		地階の吸気ファン・モーターダンパー	動作確認
		排気ファン・電動シャッター	動作確認
2	真空ポンプ	ポンプ	破損・異音・異臭等がないか
		スイッチの投入状態	自動・連動位置になっているか
		真空吸込み管	チャッキバルブ・損傷・接続部の緩みまたは漏れがないか
		封水及び真空圧	異常の有無
3	圧送ポンプ	ポンプ	破損・異音・異臭等がないか
		スイッチの投入状態	自動・連動位置になっているか
		吐出管	チャッキバルブ・損傷・接続部の緩みまたは漏れがないか
4	封水タンク	循環ポンプ、ファン	破損・異音・異臭等がないか
		封水タンク	水量の確認、漏れ・破損がないか
		水道管	チャッキバルブ・損傷・接続部の緩みまたは漏れがないか
		スイッチの投入状態	自動・連動位置になっているか
		脱臭装置	損傷、漏れ、異臭等がないか
5	雑排水 設 備	雑排水ポンプ	動作確認、破損・異音・振動がないか
		雑排水槽内	異物・破損等がないか
		チャッキ弁・バルブポンプ	揚水の確認、損傷がないか
		フリクトスイッチの投入状態	動作確認、破損等がないか
6	集水タンク	集水タンク外部	破損・漏れ等がないか
		水位計(電極棒)	脱落・破損・汚れ等がないか
		各バルブ	動作・開閉確認、損傷がないか
		真空圧ゲージ	真空圧が正常か、破損等がないか
		集水タンク内部	浮遊物・内壁の汚れ
7	流量計	変換器	電源の投入状態の確認、損傷等がないか

(4) スクリーン施設

	点 検 箇 所		点 検 内 容
1	スクリーン	スクリーンの外観、周囲の状況	破損箇所等が無い確認
		かき取り・スクリューまたはディスク・スクリューの動作	手動運転により、異音・異物の有無、回転状態の確認
2	駆動装置	運転状況	金属接触音、オイル漏れ等の有無の確認
3	水位計	水位計の外観、周囲、設置状況	破損箇所等が無い確認

6 年次点検実施要領

(1) 各施設共通

① 制御盤

	点 検 箇 所	点 検 内 容
1	配線・接続端子部	損傷の有無、端子の緩みはないか
2	電流計、電圧計、警報ランプ	受電圧計～規定電圧はあるか(200V±10%以内) 電流計(No.1・No.2 ポンプ)～ 負荷電流・無負荷電流値 記録と動作確認 ランプの球切れはないか
3	電磁接触器、リレー類	動作確認、接点に不良はないか。
4	盤内部の清掃	
5	発電機の接続	接続後の負荷試験
6	直流電源設備点検	セル電圧測定と外観点検を行い、異常のないことを確認する。(もみじ台ポンプ所のみ)
7	計装設備点検 (3年周期/箇所)	目視点検及び清掃(中継箱、電源箱含む) 実圧試験 入出力特性試験 ベロフラム、封入液、避雷素子の交換(全施設の1/3相当台数)

② 外部

	点 検 箇 所	点 検 内 容
1	マンホール蓋付近	陥没・蓋の破損・溢水の有無・蓋鳴り・摩耗
2	現場制御盤外部、周囲	陥没・破損・倒壊等の有無、塗装部剥がれ
3	引込柱・引込線・周囲	陥没・破損・倒壊・線に異物付着の有無
4	制御盤アーム・固定バンド	アーム・バンドの破損、ボルトの緩みの有無
5	取引計器盤、保安器箱	破損等の有無、電流値の確認及び記録
6	雨量計	損傷の有無の確認、内部の清掃(藻岩下第2中継ポンプ場のみ)

(2) ポンプ施設

① ポンプ本体

	点 検 箇 所	点 検 内 容
1	外部の清掃、点検	外部の損傷の有無
2	ケーブルの点検	被覆の損傷の有無
3	浸水室の点検	オイル、汚水等の混入はないか
4	オイルの交換	オイルの状態 透明－異常なし 白濁－別段異常なし 黒濁－メカニカルシールの交換が必要 オイルの量 ポンプを45度に傾け、注入口からあふれる直前を目安とする。(入れ過ぎに注意)
5	ギャップ測定	ケーシングと羽根車とのクリアランスを測定 (標準クリアランスは、1mm以下、広い場合はシムにて調整)
6	ケーシング内部の点検	磨耗、損傷はないか
7	羽根部の点検	羽根車に異物の絡み付き、磨耗、損傷はないか
8	ベアリングの点検	異音はないか
9	絶縁抵抗測定	測定値の記録

② 付属設備

	点 検 箇 所	点 検 内 容
1	マンホール内部	直立管・ステップの損傷・浸入水の有無
2	中間フロア	破損の有無
3	ケーブル接続キット	損傷・亀裂等の有無
4	バルブ・エア抜き弁	損傷・動作確認・給油等(チャッキ弁含む)
5	吐出管、配管	損傷・接続部からの漏れ等の有無
6	ガイドスタンド・ガイドレール	損傷、腐食等の有無・設置状態(フランジからの漏れ)
7	フリクトスイッチ	損傷の有無、動作確認
8	防波板	損傷の有無、ボルトの緩み
9	予旋回槽ブロック	破損等の有無
10	釜場	浮遊物・堆積物・スカム等の有無

③ 自家発電設備

		点 検 箇 所	点 検 内 容
1	発電機	吸気扇及び吸気ダンパーの点検	破損等の有無、動作確認
		排気扇及び排気ダンパーの点検	破損等の有無、動作確認
		排気管・排気口の点検	変形、損傷、漏れ、詰まり等の有無
		バッテリー液の点検	量・比重値の確認
		燃料タンクの点検	漏れ、量の確認
		冷却水の点検	量・汚れ等の確認
		燃料・オイル等のフィルターの点検	異常の有無、
		計器類の点検	正常な指示の確認
		各配線・端子の点検	変色、亀裂、異臭等の確認
		制御盤の点検	各ランプの点灯確認、試運転による動作確認
絶縁抵抗測定、蓄電池点検、接地抵抗測定(もみじ台ポンプ所のみ)			

④ ゲート設備

		点 検 箇 所	点 検 内 容
1	流入ゲート(電動) 1門		外観点検(開度計の作動状態、現場ランプ)

(3) 真空ポンプ施設

		点 検 箇 所	点 検 内 容
1	真空ポンプ	ポンプ	破損・異音・異臭等がないか
		スイッチの投入状態	自動・連動位置になっているか
		真空吸込み管	チャッキバルブ・損傷・接続部の緩みまたは漏れがないか
		封水及び真空圧	異常の有無
		吸込逆止弁	異常の有無
		キャブタイヤケーブル	キャブタイヤケーブル損傷の有無
2	圧送ポンプ	ポンプ	破損・異音・異臭等がないか
		スイッチの投入状態	自動・連動位置になっているか
		吐出管	チャッキバルブ・損傷・接続部の緩みまたは漏れがないか
		吸込逆止弁	異常の有無
		オイルの状態	オイルの点検・交換
		キャブタイヤケーブル	キャブタイヤケーブル損傷の有無
3	封水タンク	タンクの点検・清掃	損傷、漏れの有無、内部の清掃
		配管及び水道管の点検	損傷、漏れの有無
		電磁弁の自動確認	正常動作の確認、スイッチの自動位置
		循環ポンプ、ファンの自動確認	正常動作の確認、スイッチの自動位置
		各バルブの状態	損傷、漏れの有無、開閉の確認
		脱臭装置の状態	損傷、漏れ、異臭の有無、開閉の確認 活性炭の交換

4	集水タンク	タンクの状態	損傷、漏れの有無
		各配管の状態	損傷、漏れの有無
		各バルブの状態	損傷、漏れの有無、開閉の確認
5	雑排水ポンプ	ポンプ本体の状態	損傷、漏れの有無、清掃
		オイルの状態	汚水の混入、オイル状態の確認
		キャブタイヤケーブル	損傷、亀裂の有無
		フリクスイッチの状態	損傷の有無、動作の確認
		吐出逆止弁の状態	損傷の有無、動作の確認
		運転時の状態	異音、振動の有無
6	真空汚水ます	真空汚水ますの点検・清掃	正常動作の確認、内部の清掃

(4) スクリーン施設

		点 検 箇 所	点 検 内 容
1	スクリーン	スクリーンの外観、周囲の状況	破損箇所等が無いか確認
		かき取りスクリューまたはディスク・スクリーンの動作	手動運転により、異音・異物の有無、回転状態の確認
		ブラシの磨耗またはディスクの状況	ブラシの接触状態と清掃状況確認または、ディスクの変形絡みつきの有無
2	駆動装置	駆動装置のオイル交換	1回/4年
		運転状況	金属接触音、オイル漏れ等の有無の確認
3	制御盤	制御盤の設置状況	破損箇所等が無いか確認
		制御盤内部状況	端子台のゆるみ、水の混入、サビ等が無いか確認
		コントローラによる状態	コントローラで機器の状態を確認
		ブレーカの動作(漏電、過電流)	テストスイッチによる動作確認
		運転電流値	既定電流値の確認(電動機用開閉器部分で測定)
		運転時間の記録	運転時間データの集計
4	水位計	水位計の外観、周囲、設置状況	破損箇所等が無いか確認

(5) 圧送・真空管路施設

		点 検 箇 所	点 検 内 容
1	埋設管路部		路面(陥没)の状況、異常の有無
2	橋梁添架部		漏水または、痕跡の有無
			支持材の異常の有無 管路部の異常の有無
3	吐出人孔部		路面との摺付け状況 躯体内の異常の有無 硫化水素(H ₂ S)値の測定
4	区間弁・排泥弁等		弁構造の異常の有無

7 緊急対応要領

(1) 確認要領

	対応手順	確認動作・点検項目
1	マンホール付近に溢水は無い	ポンプ所マンホール及び上流マンホールを点検する
2	現場制御盤・引込線等に異常はない	制御盤の破損、倒壊及び周囲の陥没等はない
3	運転スイッチ、電源の投入状態	電源は投入されているか、運転スイッチは各ポンプ共に自動位置になっているか
4	水位指示計の指針により水位の読み	水位値を記録
5	故障種別についての確認	集合表示灯にて確認(浸水、過負荷、温度上昇・ELB等)
6	故障ポンプのブレーカ断	切替スイッチを手動位置に切り替え、ブレーカを落とす
7	故障ポンプの接続端子をはずす	動力線のみはずし絶縁抵抗測定後記録する
8	次号ポンプの点検	手動位置でポンプ起動確認(電流計で負荷電流は正常か確認) 自動位置で運転、停止を確認
9	他の設備について	水位計、配線等を点検し異常の有無の確認
10	ポンプ引き上げ点検修理の手配	ユニック及び人員の手配(夜間・休日の場合は翌日)

(2) 復旧要領

	故障種別	手順・確認項目
1	ポンプ過負荷	ブレーカを落とし端子台から動力配線ははずす
		故障ポンプを引き上げる
		ケーシング及び羽根部を分解し原因を除去する
		組立後、絶縁抵抗測定し無負荷試運転で異常の有無の確認
		釜場内の土砂及び異物等を除去する
		ポンプを釜場に設置し負荷運転にて設置状態を確認する
		自動位置にて運転水位、停止水位を確認(負荷電流値の確認)
		自動通報機の確認(スイッチは警報位置になっているか)
2	ポンプ浸水	電話機の話状態の確認
		ブレーカを落とし端子台から動力配線ははずす
		故障ポンプを引き上げる
		浸水検知室を点検(オイル、汚水等の混入は無い)
		オイルを引抜き、オイル点検(色、汚水の混入、オイルの量)
		オイル交換(注入量には十分に注意、規定量より若干少なめ)
		ポンプを釜場に設置し負荷運転にて設置状態を確認する
		自動位置にし運転水位、停止水位を確認(負荷電流値の確認)
		自動通報機の確認(スイッチは警報位置になっているか)
		電話機の話状態の確認
		操作盤の施錠確認
		メカニカルシールの不良の場合
交換部品を手配した後に交換作業(モーター側・ポンプ側)		
ケーブルの短絡、絶縁不良(絶縁抵抗測定)		

(3) 故障内容による対処方法

① ポンプ ELB 断

	予測される原因	対応と処置
1	キャブタイヤケーブルの短絡	故障ポンプの運転スイッチを手動位置にしてブレーカーを落とし、絶縁抵抗を測定する。
2	ポンプ電動機の短絡	業務主任に状況を報告し、指示を受ける。
3	埋設ケーブルの切断事故	埋設ケーブルの切断事故については、工事名、工事会社名、現場責任者名、電話番号を控え、業務主任に報告する。 夜間・休日等は業務主任の自宅に電話連絡して指示を受ける。
4	接続コネクタ部の端子の切断	業務主任に状況を報告し、指示を受ける。

② ポンプ過負荷

	予測される原因	対応と処置
1	羽根車とケーシングの間に異物の絡み	電流値により判断する(通常の負荷電流値と比較) 故障ポンプの運転スイッチを手動位置にする。 故障ポンプのブレーカーを落として端子台から配線はずす。 故障ポンプを引き上げ、ケーシング部を分解し除去する。 組立後、必ず無負荷・負荷運転にて電流値を確認すること。 釜場を点検し、異物、土砂等を除去する。
2	ポンプ電動機の短絡	業務主任に状況を報告し、指示を受ける。
3	埋設ケーブルの切断事故	埋設ケーブルの切断事故については、工事名、工事会社名、現場責任者名、電話番号を控え、業務主任に報告する。 夜間・休日等は業務主任の自宅に電話連絡して指示を受ける。
4	接続コネクタ部の端子の切断	業務主任に状況を報告し、指示を受ける。

③ ポンプ浸水

	予測される原因	対応と処置
1	メカニカルシールの不良による汚水の混入	導通状態の確認 故障ポンプを引き上げて浸水室の点検の点検をする
2	オイルの入れ過ぎ	オイル、汚水等が混入の場合はオイルを引抜きオイル交換
3	センサースイッチの不良	オイル、汚水等が見られない場合
4	キャブタイヤケーブルの切断	リリーススイッチを正常な方と取替え、端子台の端子を増締めしても復帰しない時はポンプ本体のセンサースイッチ・キャブタイヤケーブルの切断、短絡が考えられるので、業務主任に報告し指示を受ける。
5	リリーススイッチの不良	
6	端子台の端子のゆるみ	オイル交換後に再度浸水警報が発報した場合はメカニカルシールの不良の疑いがある。 メカニカルシール不良の場合は部品を調達後に交換作業を実施する。

④ ポンプ温度上昇

	予測される原因	対応と処置
1	オイルが少ない場合	絶縁抵抗を測定する(正常値-1000MΩ)
2	センサー不良による場合	正常なポンプのリリーススイッチと取替え、端子台の端子を増締めしても復帰

3	空運転による場合	できない時は、ポンプ本体のセンサーやスイッチ、ケーブルの切断、短絡が考えられるので、状況を業務主任に報告して指示を受ける。
4	ケーブルの短絡	
5	リレースイッチの不良による場合	

(4) 停電時の対処方法

① 停電原因と対処

	予 測 さ れ る 原 因	対 応 と 処 置
1	交通事故による電柱の折損による停電	設備の点検 (復旧時間により発電機を現地に搬入、運転)
2	電気工事による外線切替作業の為の停電	
3	変電所の事故による停電	
4	北海道電力の設備故障による停電	
5	強風時および雷のショックによる停電	
6	電線に異物の付着による停電	
7	ドロップアウトによる停電	
8	現場制御盤の破損、倒壊による停電	
9	現場制御盤内の停電センターによる停電	
10	電圧低下による停電	
11	引込線の断線による停電	
12	原因不明による停電	

② 発電機使用時の手順

	対 応 手 順	確 認 動 作 ・ 点 検 項 目
1	発電機の確認	始業点検(オイル、水、燃料、バッテリー液等)
2	発電機を運転する	排気(近くに可燃物は無いか)、ケーブル等に十分に注意
3	発電電圧、周波数を確認する。	電圧計で 200V・50 Hzを指示しているか確認する
4	発電機のケーブルを制御盤に接続する	コネクターはしっかり差し込み固定する
5	電力主幹を切にする	スイッチ操作は確実に行う
6	各ポンプのブレーカーを切る	No.1、No.2 ポンプ共に確実に切る
7	自家発切替インターロックを発電機側に切替え	スイッチ操作は確実に行う
8	電力主幹を入にする	スイッチ操作は確実に行う
9	No.1ポンプのブレーカーを入れる	手動運転で、負荷電流の確認後、運転スイッチは自動位置
10	ポンプの運転状態を確認する	運転水位での運転開始、負荷電流値を確認する
11	No.2 ポンプのブレーカーを入れる	切替スイッチは自動運転位置にする

③ 電力が復帰した場合の手順

	対 応 手 順	確 認 動 作 ・ 点 検 項 目
1	北電への確認	電話で完全に復旧かどうか確認する
2	No.1、No.2ポンプを停止する	各ポンプのブレーカーを切り、切替えスイッチは手動運転位置
3	電力主幹を切にする	スイッチ操作は確実に行う
4	自家発切替インターロックを商用に切替え	スイッチ操作は確実に行う
5	電力主幹を入にする	スイッチ操作は確実に行う
6	No.1ポンプのブレーカーを入れる	手動運転で、負荷電流の確認後、切替スイッチは自動運転位置に切替える
7	ポンプの運転状態を確認する	運転水位での運転開始、負荷電流値を確認する
8	No.2 ポンプのブレーカーを入れる	切替スイッチは自動運転位置にする
9	操作盤内の操作スイッチ類の投入状態確認	各スイッチ類の確認・警報ランプのランプテスト

10	発電機のコネクターを切り離す	コネクター部を持って
11	発電機を停止する	アクセルで回転を下げた後、停止ボタンで停止する
12	自動通報機、電話機の異常はないか	試験位置で通報状況の確認、警戒位置、通報状況の確認
13	操作盤の施錠	施錠は確実にすること

(5) 水位異常時の対処方法

	対応手順	確認動作・点検項目
1	マンホール付近に溢水はないか	ポンプ所マンホール、上流マンホールを点検する
2	現場制御盤および引込線等に異常はないか	制御盤の破損、倒壊、周囲に陥没等はないか
3	運転スイッチ、電源の投入状態	電源は投入されているか 各ポンプの切替えスイッチは自動位置になっているか
4	水位指示計の指針により水位を確認する	水位値を記録する
5	ポンプを手動運転にて運転確認	電流計により負荷電流を確認 電流値により判断(通常時の負荷電流と比較) 通常より高い場合～ポンプの羽根部に異物が咬んでいる、または釜場に土砂等が堆積している 通常より低い場合～ポンプにエアアが咬んでいる
6	マンホール内の水位確認および流入水確認	雨による増水の場合は業務主任に報告し、指示を受ける 天候に関係なく流入水が多い場合は、ポンプ所の上流で工事による排水をしている可能性があることから、上流側を調査する。確認した場合は説明を行い中止させる。
7	マンホール内の設備の点検	エアア抜きコックは閉じているか フリクスイッチは引かかかっていないか、落下していないか チャッキ弁の動作確認 No.1・No.2 チャッキ弁の上バルブを交互に閉じ水位計で水位の下がりを確認する。下がりが悪い場合はチャッキ弁を点検する。
8	操作盤その他の点検、確認	水位が正常値まで下がり、運転水位、停止水位を確認する。 操作盤の切替えスイッチは自動位置にする 警報ランプのテストをして復帰ボタンを必ず押す。 自動通報装置の確認(スイッチは警報位置になっているか) 電話機の通話状態の確認 操作盤の施錠確認

(6) その他

- ・ 業務履行に際し、事前に自動通報機からの送信先を設定しておくこと
- ・ もみじ台ポンプ所及び藻岩下第2中継ポンプ場において、電気事故等(感電、施設の破損、電気火災事故等)が発生した場合は、速やかに業務主任に報告すること(藻岩下第2中継ポンプ場で電気事故が発生した場合は新川水処理センターにも速やかに報告すること)
- ・ その他、緊急対応業務を実施した場合には、その業務内容及び業務結果を速やかに業務主任に報告すること

8 交換整備概要

- (1) 交換整備が必要な場合は、下記の内容を実施するものとし、正常な動作確認を実施すること。

交換整備	概要
タイマー交換	マンホールポンプ施設における制御盤のタイマーの交換業務
通報機交換	マンホールポンプ施設における制御盤の通報機の交換業務
警報設定機交換	マンホールポンプ施設における制御盤の警報設定機の交換業務
軸受交換 (D3K・E5K)	マンホールポンプ施設における水中ポンプの軸受けメカニカルシール(ポンプ側、モーター側)の交換
羽根車交換 (D3K・E5K)	マンホールポンプ施設における水中ポンプの羽根車、サクシオンライナー、羽根車ボルト、Oリング、スペーサーシム等の交換業務
共通事項	<ul style="list-style-type: none">整備を実施後、必要な設定を行い、正常な動作の確認を行うこと。交換する主要部品について、規格や仕様が確認できる資料と整備前後の様子がわかる写真を用意し、業務主任に提出すること。各々の設備の整備記録及び対象設備の履歴を記録し保存しなければならない。整備等に必要な部品及び資材について、備消耗品は本業務の範囲とし主要部品は範囲外とする。 備消耗品: 工具類・測定機器類・ウエス・ホース類・ケーブル類・パッキン類・ボルト・ナット・油脂類・作業用具類・燃料類・照明類・衛生用品・事務用品類等とする。整備業務により発生する廃オイル等は、適正に取り扱うこと。交換作業の実施については、通常運転が可能な状態まで復帰し、復旧に至らない場合は、業務主任の確認を得ること。

9 交通誘導警備員

本業務で配置する交通誘導警備員については、次のとおりとする。

- (1) 交通規制を伴う場合は、交通誘導警備員を必要数配置すること。
- (2) 交通誘導警備員の配置する業務の種類について、業務主任と協議すること。
- (3) 交通誘導警備員 A・B について、配置して作業した場合は、業務の種類に応じて警備日報による時間で計上するものとする。
- (4) 交通誘導警備員の資格について

市街地(人口集中地区(DID地区)及びこれに準じる地区)及び公安委員会が認定する検定合格警備員の配置を必要とする路線で作業を行う場合、配置する交通誘導警備員は、警備業法に定める警備員であって、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員を1名以上配置すること。

公安委員会認定路線の確認は北海道警察本部のホームページで行うこと。

- (5) 各工種別の交通誘導警備員

交通誘導警備員 A とは、交通誘導警備業務に係る1級または2級検定合格者の資格を持つ警備員で、交通誘導警備員 B とはそれ以外の者をいう。

- (6) 資格等の確認

業務主任に交通誘導警備員 A としての資格が分かる書類を提示し、確認を受けること。

第3章 様式集 目次

・ 業務着手届	様式-1
・ 業務代理人指定通知書	様式-2
・ 業務完了届	様式-3
・ マンホール・ソフ 施設等維持管理業務内訳書	様式-4
・ 業務委託内訳書	様式-5
・ 業務量内訳	様式-6
・ 業務協議簿	様式-7
・ 業務集計表	報告書様式-1
・ 臨時作業・緊急対応業務報告書	報告書様式-2
・ 破損箇所一覧表	報告書様式-3
・ 通常点検日一覧表	報告書様式-4
・ マンホール・ソフ 所業務日報（通常点検）	報告書様式-5
・ もみじ台マンホール・ソフ 所業務日報（通常点検）	報告書様式-6
・ 藻岩下第2中継ホソフ 場業務日報（通常点検）	報告書様式-7
・ 山本真空ホソフ 所業務日報（通常点検）	報告書様式-8
・ 西野3条9丁目きょう雑物除去スクリーン業務日報（通常点検）	報告書様式-9
・ 交換整備報告書（警報設定機・通報機・タイマー交換）	報告書様式-10
・ 交換整備報告書（羽根車・軸受交換）	報告書様式-11
・ 年次点検総括報告書	報告書様式-12
・ ポンプオイル交換量および状態一覧表	報告書様式-13
・ マンホール・ソフ 所業務日報（年次点検）	報告書様式-14
・ もみじ台マンホール・ソフ 所業務日報（年次点検）	報告書様式-15
・ 藻岩下第2中継ホソフ 場業務日報（年次点検）	報告書様式-16
・ 山本真空ホソフ 所業務日報（年次点検）	報告書様式-17
・ 西野3条9丁目きょう雑物除去スクリーン業務日報（年次点検）	報告書様式-18
・ 圧送・真空管路業務日報（年次点検）	報告書様式-19
・ 酸素・硫化水素・可燃性ガス等濃度測定記録表	報告書様式-20

業 務 着 手 届

令和 年 月 日

札幌市長 様

(住所)
受託者
(氏名)

下記役務は、令和 年 月 日着手したなお届けします。

記

1. 役務番号 第 号

2. 役 務 名

- ・ 提出部数 1部
- ・ 提出先 業務主任
- ・ 提出期限 着手と同日

業務代理人指定通知書

令和 年 月 日

札幌市長 様

(住所)
受託者
(氏名)

役 務 番 号	役 務 名	
第 号		
上記役務に係る業務代理人及び業務主任技術者を次のとおり定めたので通知します。		
区 分	氏 名	備 考

決裁区分	課長	係長	業務完了届
課			
			令和 年 月 日
札幌市長			様
			(住所) 受託者 (氏名) 印
役務番号	第	号	
役務名			
上記役務の 月分 は、令和 年 月 日完了したのでお届けします。			

備考 札幌市競争入札参加資格者（物品・役務）は、電子メールによる提出（押印不要）を可とする。送信先等の提出方法は札幌市の指示に従うこと。

受付 令和 年 月 日	完了を確認した職員 業務主任 技術職員	印
-------------	------------------------	---

決裁区分	課長	係長	課
この役務の立会人を下記の者に命じる。			
立会人 技術職員			

決裁区分	課長	係長	課
この役務の検査員を下記の者に命じ、検査を 令和 年 月 日 時 分から実施する。			
検査員 技術職員			

決裁区分	課長	係長	業務完了検査報告書
課			
			令和 年 月 日
			検査員 技術職員 印
			立会人 技術職員 印
上記役務の検査結果は、次のとおりであったので報告します。			
役務名			
契約の相手方			
契約金額	単価契約（月額： 月分 円）		
契約年月日	令和 年 月 日		
実施期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
検査年月日	令和 年 月 日		
検査の結果			

令和 年 月 マンホールポンプ施設等維持管理業務内訳書

マンホールポンプ施設分

細 目	単 価	数 量	金 額
通常点検費	円	回	円
年次点検費 (P2台)	円	回	円
年次点検費 (P1台)	円	回	円
緊急対応費 (A)	円	時間	円
緊急対応費 (B)	円	時間	円
タイマー交換費	円	台	円
通報機交換費	円	台	円
警報設定機交換費	円	台	円
軸受 (D3K) 交換費	円	台	円
軸受 (E5K) 交換費	円	台	円
羽根車 (D3K) 交換費	円	か所	円
羽根車 (E5K) 交換費	円	か所	円
人力除雪工費	円	か所	円
支 払 金 額 小 計 ①			円

藻岩下第2中継ポンプ場分

細 目	単 価	数 量	金 額
通常点検費	円	回	円
年次点検費	円	回	円
緊急対応費 (A)	円	時間	円
緊急対応費 (B)	円	時間	円
支 払 金 額 小 計 ②			円

真空ポンプ施設分

細 目	単 価	数 量	金 額
通常点検費	円	回	円
年次点検費	円	回	円
緊急対応費	円	時間	円
真空枘・封水タンク清掃費	円	回	円
支 払 金 額 小 計 ③			円

きょう雑物除去スクリーン分

細 目	単 価	数 量	金 額
通常点検費	円	回	円
年次点検費	円	回	円
緊急対応費	円	時間	円
支 払 金 額 小 計 ④			円

共通項目分

細 目	単 価	数 量	金 額
水位計点検費	円	か所	円
圧送・真空管路点検費	円	回	円
汚水吸引対応費	円	時間	円
臨時作業費 (A)	円	時間	円
臨時作業費 (B)	円	時間	円
交通誘導警備費A	円	時間	円
交通誘導警備費B	円	時間	円
交通誘導警備費A (緊急)	円	時間	円
交通誘導警備費B (緊急)	円	時間	円
支 払 金 額 小 計 ⑤			円

①+②+③+④+⑤ 合計金額	円
消費 税 相 当 額	円
マンホールポンプ施設等維持管理業務委託費合計	円

業務協議簿 (第 回)

発議者	<input type="checkbox"/> 委託者 ・ <input type="checkbox"/> 受託者	発議年月日	回答希望日
発議事項	<input type="checkbox"/> 指示 ・ <input type="checkbox"/> 協議 ・ <input type="checkbox"/> 通知 ・ <input type="checkbox"/> 承諾 ・ <input type="checkbox"/> 提出 ・ <input type="checkbox"/> 報告 ・ <input type="checkbox"/> 届出 ・ <input type="checkbox"/> その他		
業務名	マンホールポンプ施設等維持管理業務		
(内容)			
----- ----- ----- ----- -----			
添付図		葉、その他添付図面	
処理・回答	委託者	上記について、 <input type="checkbox"/> 指示 ・ <input type="checkbox"/> 承諾 ・ <input type="checkbox"/> 協議 ・ <input type="checkbox"/> 通知 ・ <input type="checkbox"/> 受理 ・ <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 回答予定日を設定します。 回答予定日 令和 年 月 日 【回答】 ----- ----- ----- ----- 添付図 葉、その他添付図書 処理・回答日：令和 年 月 日 【最終】処理・回答日：令和 年 月 日	
	受託者	<input type="checkbox"/> 工事内容の変更の対象と <input type="checkbox"/> しない <input type="checkbox"/> する。ただし、詳細については別途指示する。 上記について、 <input type="checkbox"/> 了解 ・ <input type="checkbox"/> 協議 ・ <input type="checkbox"/> 提出 ・ <input type="checkbox"/> 報告 ・ <input type="checkbox"/> 届出 ・ <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 回答予定日を設定します。 回答予定日 令和 年 月 日 【回答】 ----- ----- ----- ----- 添付図 葉、その他添付図書 【中間】処理・回答日：令和 年 月 日 【最終】処理・回答日：令和 年 月 日	

		課長	係長	業務主任
確認欄	中間時			
	最終時			

		業務代理人		
確認欄	中間時			
	最終時			

⑤ タイマー交換業務 交換： 台

日	曜日	施設名	作業時間	台数	備考

⑥ 通報機交換業務 交換： 台

日	曜日	施設名	作業時間	台数	備考

⑦ 警報設定機交換業務 交換： 台

日	曜日	施設名	作業時間	台数	備考

⑧ 軸受交換業務 : D3K 交換： 台

日	曜日	施設名	作業時間	ポンプ	誘導員	備考

軸受交換業務 : E5K 交換： 台

日	曜日	施設名	作業時間	ポンプ	誘導員	備考

⑨ 羽根車交換業務 : D3K 交換： か所

日	曜日	施設名	作業時間	誘導員	備考

羽根車交換業務 : E5K 交換： か所

日	曜日	施設名	作業時間	誘導員	備考

II. 藻岩下第2中継ポンプ場

① 通常点検業務

② 年次点検業務

③ 緊急対応業務(A) 出動： 回 出動総時間

日	曜日	対応内容	対応時間	備考

④ 緊急対応業務(B) 出動： 回 出動総時間

日	曜日	対応内容	対応時間	備考

Ⅲ. 真空ポンプ施設

① 通常点検業務

② 年次点検業務

③ 真空枘・封水タンク清掃業務

④ 緊急対応業務 出動： 回 出動総時間

日	曜日	対応内容	対応時間	誘導員	備考

Ⅳ. きょう雑物除去スクリーン施設

① 通常点検業務

② 年次点検業務

③ 緊急対応業務 出動： 回 出動総時間

日	曜日	対応内容	対応時間	誘導員	備考

Ⅴ. 共通項目

① 臨時作業業務(A) 出動： 回 出動総時間

日	曜日	施設名	対応内容	対応時間	誘導員

② 臨時作業業務(B) 出動： 回 出動総時間

日	曜日	施設名	対応内容	対応時間	備考

③ 記事欄

.....

.....

.....

令和 年 月

破 損 箇 所 一 覧 表

No.	施設名	制御盤本体						制御盤周囲				MH周囲	今 月 報 告 事 項
		塗装	基礎	可動部	傾斜	内部錆	電話機	スノーポール	ガードレール	保安箱	電線管		
1	北郷												
2	もみじ台												
3	真栄												
4	定山溪												
5	福井												
6	No. 1上籐路西												
7	No. 2上籐路西												
8	No. 1中沼												
9	No. 2中沼												
10	No. 3中沼												
11	No. 1滝野												
12	No. 2滝野												
13	No. 3滝野												
14	No. 4滝野												
15	No. 1上籐路東												
16	No. 2上籐路東												
17	No. 3上籐路東												
18	No. 1山本												
19	No. 2山本												
20	No. 1定山溪東												
21	サンブライト												
22	No. 4上籐路東												
23	No. 4中沼												
24	No. 5中沼												
25	No. 1北丘珠												

No.	施設名	制御盤本体						制御盤周囲				MH周囲	今月報告事項
		塗装	基礎	可動部	傾斜	内部錆	電話機	スノーポール	ガードレール	保安箱	電線管		
26	No. 3中沼北												
27	No. 3上篠路西												
28	No. 2中沼北												
29	No. 1中沼北												
30	No. 1北の沢												
31	No. 1真駒内												
32	No. 4中沼北												
33	No. 5中沼北												
34	No. 6中沼北												
35	No. 2丘珠西												
36	No. 2定山溪東												
37	No. 2川北												
38	No. 1定山溪市街地												
39	No. 1丘珠西												
40	No. 1円山西町												
41	丘珠東												
42	No. 1篠路南												
43	No. 2篠路南												
44	No. 1川下												
45	No. 2川下												
46	No. 1石山												
47	No. 2定山溪市街地												
48	No. 1藻岩下5丁目												
49	No. 3丘珠西												
50	No. 3川下												
51	No. 4川下												
52	No. 5川下												
53	No. 1定山溪温泉東2丁目												

No.	施設名	制御盤本体						制御盤周囲				MH周囲	今月報告事項
		塗装	基礎	可動部	傾斜	内部錆	電話機	スノーポール	ガードレール	保安箱	電線管		
54	前田												
55	福井9丁目												
56	手稲本町4条4丁目												
57	No. 6川下												
58	No. 7川下												
59	No. 2北丘珠												
60	No. 1真栄												
61	No. 2真栄												
62	No. 2円山西町												
63	西宮の沢												
64	No. 1平和												
65	No. 1南丘珠												
66	No. 1駒岡												
67	No. 2駒岡												
68	No. 1手稲山口												
69	No. 8川下												
70	No. 1北郷幹線												
71	No. 1丘珠西地区												
72	No. 2手稲山口												
73	No. 2北郷												
74	No. 3円山西町												
75	北郷4条8丁目												
76	旭ヶ丘2丁目												
77	篠路北												
78	No. 1東米里												
79	No. 2東米里												
80	No. 3東米里												
81	No. 4東米里												

No.	施設名	制御盤本体						制御盤周囲				MH周囲	今月報告事項
		塗装	基礎	可動部	傾斜	内部錆	電話機	スノーポール	ガードレール	保安箱	電線管		
82	No. 1福移幹線												
83	No. 2福移幹線												
84	No. 9川下												
85	No. 4円山西町												
86	No. 7中沼北												
87	藻岩下1丁目												
88	川沿1条3丁目												
89	大谷地東2丁目												
90	No. 1定山溪温泉西												
91	里塚2条2丁目												
92	川沿1条4丁目												
	山本真空												
	藻岩下第2中継												

※ 塗装：制御盤外部、扉の塗装
 可動部：鍵や扉などのヒンジ部分

通常点検日一覧表

令和 年 月

No.	委託年月	施設名	点検実施日	
			月	月
1		北郷		
2		もみじ台		
3		真栄		
4		定山溪		
5		福井		
6		No. 1上篠路西		
7		No. 2上篠路西		
8		No. 1中沼		
9		No. 2中沼		
10		No. 3中沼		
11		No. 1滝野		
12		No. 2滝野		
13		No. 3滝野		
14		No. 4滝野		
15		No. 1上篠路東		
16		No. 2上篠路東		
17		No. 3上篠路東		
18		No. 1山本		
19		No. 2山本		
20		No. 1定山溪東		
21		サンブライト		
22		No. 4上篠路東		
23		No. 4中沼		
24		No. 5中沼		
25		No. 1北丘珠		
26		No. 3中沼北		
27		No. 3上篠路西		
28		No. 2中沼北		
29		No. 1中沼北		
30		No. 1北の沢		
31		No. 1真駒内		
32		No. 4中沼北		
33		No. 5中沼北		
34		No. 6中沼北		
35		No. 2丘珠西		
36		No. 2定山溪東		
37		No. 2川北		
38		No. 1定山溪市街地		
39		No. 1丘珠西		
40		No. 1円山西町		
41		丘珠東		
42		No. 1篠路南		
43		No. 2篠路南		
44		No. 1川下		
45		No. 2川下		
46		No. 1石山		
47		No. 2 定山溪市街地		
48		No. 1藻岩下5丁目		

No.	委託年月	施設名	点検実施日	
			月	月
49		No. 3丘珠西		
50		No. 3川下		
51		No. 4川下		
52		No. 5川下		
53		No. 1定山溪温泉東2丁目		
54		前田		
55		福井9丁目		
56		手稲本町4条4丁目		
57		No. 6川下		
58		No. 7川下		
59		No. 2北丘珠		
60		No. 1真栄		
61		No. 2真栄		
62		No. 2円山西町		
63		西宮の沢		
64		No. 1平和		
65		No. 1南丘珠		
66		No. 1駒岡		
67		No. 2駒岡		
68		No. 1手稲山口		
69		No. 8 川下		
70		No. 1北郷幹線		
71		No. 1丘珠西地区		
72		No. 2手稲山口		
73		No. 2北郷		
74		No. 3円山西町		
75		北郷4条8丁目		
76		旭ヶ丘2丁目		
77		篠路北		
78		No. 1東米里		
79		No. 2東米里		
80		No. 3東米里		
81		No. 4東米里		
82		No. 1福移幹線		
83		No. 2福移幹線		
84		No. 9川下		
85		No. 4円山西町		
86		No. 7中沼北		
87		藻岩下1丁目		
88		川沿1条3丁目		
89		大谷地東2丁目		
90		No. 1定山溪温泉西		
91		里塚2条2丁目		
92		川沿1条4丁目		
●		藻岩下第2中継ポンプ場		
●		山本真空ポンプ所		
●		西野3条9丁目スクリーン		

No.

業 務 日 報 (通 常 点 検)

施設名：

点検日 令和 年 月 日

① 施設周囲の目視点検（共通）

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄	凡例				
					良好状態 不良状態	○ ×	処置済 経過観察	▲ △	清掃済
1	マンホール蓋付近	陥没・蓋鳴り・摩耗・破損・溢水等の有無							
2	現場制御盤外部・周囲	陥没・塗装部剥れ・破損・倒壊等の有無							
3	制御盤アーム・固定バンド	アーム・バンドの破損・ボルトの緩みの有無							
4	引込柱・引込線・周囲	陥没・破損・倒壊・線に異物の付着の有無							
5	取引計器盤・保安器箱	破損等の有無及び電力計値の記録（別表）							

② 現場制御盤内部及び機器の点検（共通）

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	盤内の汚損状態	塵・埃・破損等の有無（汚れている場合は清掃）		
2	電源の投入状態	電圧計（200V±10%）を確認、自家発電切替インターロック確認		
3	操作スイッチ類	取付状態・損傷等の有無、各ブレーカーの投入状態確認		
4	水位計	水位指示計・警報設定機の動作確認		
5	電流計	定格電流値と負荷電流値の確認及び記録		
6	アワーメーター	運転時間・回数の確認及び記録		
7	自動通報機	電源の投入状態の確認、通報状態の確認、破損等の有無		
8	電話機	通話状態の確認、破損等の有無		
9	配線・端子台の状態	端子の緩み、配線の断線・損傷の確認		
10	各スイッチ類	通報機は警戒位置、運転スイッチは自動位置		

③ 施錠と記録（共通）

No.	点検内容	チェック	記事欄
1	施錠は確実に行ったか		
2	異常個所については写真撮影（黒板に施設名、異常個所名、点検日を記入）を行う		

④ 手動操作による揚水確認

No.	点検内容	チェック	記事欄
1	通常時の負荷電流値との比較確認（異常があれば異物・土砂の除去、清掃）		
2	水位指示計により水位の下がり进行比较確認（異常があればチャッキ弁の異物の除去・清掃）		

⑤ 各数値の記録

運転時間		No. 1ポンプ	No. 2ポンプ	
	今月			
	前月			
	運転時間			
電力計の値				
200V	今月			
	前月			
	使用量			
運転回数		No. 1ポンプ	No. 2ポンプ	合計
	今月			
	前月			
	運転回数			
電流値	新メーター		旧メーター	
	定格電流値			
測定電流値				

⑥ 緊急対応・臨時作業

日付	受信時間	区分	異常内容	記事欄

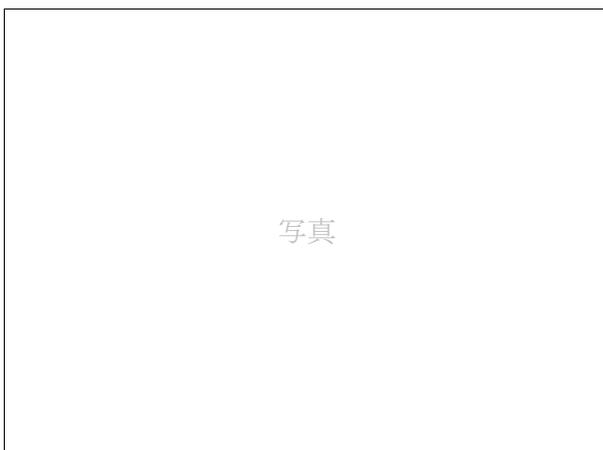
有

無

⑦ 状況写真



通常点検状況



⑨ 記事欄

.....
.....
.....
.....
.....

⑧ 交換整備記録

月 日	業 務 名

No. 2

業務日報 (通常点検)

施設名：もみじ台マンホールポンプ所

点検日 令和 年 月 日

① 施設周囲の目視点検 (共通)

No.	点検箇所	点検内容	凡例			
			良好状態 不良状態	○ ×	処置済 経過観察	▲ △
1	マンホール蓋付近	陥没・蓋の破損・溢水の有無・蓋鳴り・摩耗				
2	現場制御盤外部・周囲	陥没・破損・倒壊等の有無、塗装部剥がれ				
3	引込柱・引込線・周囲	陥没・破損・倒壊・線に異物付着の有無				
4	取引計器盤・保安器箱	破損等の有無、電流値の確認及び記録				
5	建屋の外観	フード・窓・ドアの破損等の有無				

② 建屋内部および機器の点検 (共通)

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	室内設備・機材	破損、異音、異臭等		
2	照明器具	破損、球切れ、異臭等		
3	水道管	損傷、水漏れ等 (冬季は水抜き)		
4	電灯分電盤	損傷、断線、変色、異臭、スイッチ等		
5	吐出管・チャッキ弁	損傷、チャッキバルブ、接続部の緩み、漏れ等		

③ 現場制御盤内部及び機器の点検 (共通)

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	盤内の汚損状態	塵・埃・破損等の有無 (汚れている場合は清掃)		
2	電源の投入状態	電圧計 (200V±10%) を確認、自家発電切替インターロック確認		
3	操作スイッチ類	取付状態・損傷等の有無、各ブレーカーの投入状態確認		
4	水位計	水位指示計・警報設定機の動作確認		
5	電流計	定格電流値と負荷電流値の確認及び記録		
6	アワーメーター	運転時間・回数の確認及び記録		
7	自動通報機	電源の投入状態の確認、通報状態の確認、破損等の有無		
8	電話機	通話状態の確認、破損等の有無		
9	配線・端子台の状態	端子の緩み、配線の断線・損傷の確認		
10	各スイッチ類	通報機は警戒位置、運転スイッチは自動位置		

④ 施錠と記録 (共通)

No.	点検内容	チェック	記事欄
1	消灯・施錠は確実にを行ったか		
2	異常個所については写真撮影 (黒板に施設名、異常個所名、点検日を記入) を行う		

⑤ 各数値の記録

ポンプの運転時間

区分	No.1ポンプ	No.2ポンプ
今月		
前月		
運転時間		

電力計・水道メーターの値

	動力 (200V)	電灯 (100V)	水道
今月			
前月			
使用量			

ポンプの運転回数

区分	No.1ポンプ	No.2ポンプ
今月		
前月		
運転回数		

電力計交換 交換日 : 年 月 日

新メーター	-	=	合計
旧メーター	-	=	
定格電流値			
負荷電流値			

⑥ 緊急対応・臨時作業

日付	受信時間	区分	異常内容	記事欄

有

無

⑦ 記事欄

.....
.....
.....
.....
.....

⑧ 交換整備記録

月 日	業 務 名

⑨ 状況写真



安全対策状況



自家発電装置点検（通常）

点検日 令和 年 月 日

① 始動前の点検

凡例	良好状態	○	処置済	▲	清掃済	◎	
	不良状態	×	経過観察	△			
No.	点検項目					チェック	記事欄
1	冷却水の量（ラジエターにいっぱい）						
2	潤滑油の量（検油棒の上限目盛り）						
3	バッテリースイッチ（ONの状態）						
4	充電ランプ（点灯）						
5	制御電源ランプ（点灯）						
6	Vベルトのタワミ（ベルトの中央を指で押さえて10～15mm）						
7	水・油等漏れは無いかな						
8	燃料タンクの油量						
9	バッテリーの状態						

② 始動後の点検

No.	点検項目	チェック	記事欄
1	潤滑油圧力（1.0 k g /cm ² 以上）		
2	充電ランプの消灯		
3	発電ランプ点灯		
4	エンジン各部の水・油漏れ		
5	エンジン各部の異音		
6	各部ボルト・ナットの緩み		
7	吸・排気口（モーターダンパーの動作）		
8	暖機運転後の負荷運転		

③ 各数値記録

項 目	定 格	負荷運転時	項 目	スイッチの位置
エンジン冷却水温度			モーターダンパー	
エンジン潤滑油温度			保温回路	
回 転 数			発電機遮断器	
エンジン潤滑油圧力(kg/cm ²)			制御電源	
回転数				
周波数				
バッテリー電圧				
発電電圧				

バッテリーの電圧測定（年次点検含め6か月に一度行う）

管理値：2.23V±0.1V

電圧 (cell)	1	2	3	4	5	6	良否判定
	7	8	9	10	11	12	

④ 記事欄

.....

.....

.....

.....

.....

.....

業 務 日 報 (通 常 点 検)

施設名：藻岩下第2中継ポンプ場

点検日 令和 年 月 日

① 施設周囲の目視点検（共通）

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄	凡例			
					良好状態 不良状態	○ ×	処置済 経過観察	▲ △
1	マンホール蓋付近	陥没・蓋の破損・溢水の有無・蓋鳴り・摩耗						
2	現場制御盤外部・周囲	陥没・破損・倒壊等の有無、塗装部剥がれ						
3	取引計器盤・保安器箱	破損等の有無、電流値の確認及び記録						
4	雨量計	損傷の有無の確認、内部の清掃						
5	建屋の外観	フード・窓・ドアの破損等の有無						

② 建屋内部および機器の点検（共通）

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	室内設備・機材	破損、異音、異臭等		
2	照明器具	破損、球切れ、異臭等		
3	水道管	損傷、水漏れ等（冬季は水抜き）		
4	電灯分電盤	損傷、断線、変色、異臭、スイッチ等		
5	吐出管	損傷、チャッキバルブ、接続部の緩み、漏れ等		
6	電気設備	接地端子盤の外観（損傷・腐食・表示等の確認）		
7	換気設備（年2回）	ベルトの張り具合・亀裂等の痛み点検		
		運転中における異音・異常振動・異常加熱の有無		

③ 現場制御盤内部及び機器の点検（共通）

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	盤内の汚損状態	塵・埃・破損等の有無（汚れている場合は清掃）		
2	電源の投入状態	電圧計（200V±10%）を確認、自家発電切替インターロック確認		
3	操作スイッチ類	取付状態・損傷等の有無、各ブレーカーの投入状態確認		
4	水位計	水位指示計・警報設定機の動作確認		
5	電流計	定格電流値と負荷電流値の確認及び記録		
6	アワーメーター	運転時間・回数の確認及び記録		
7	自動通報機	電源の投入状態の確認、通報状態の確認、破損等の有無		
8	電話機	通話状態の確認、破損等の有無		
9	配線・端子台の状態	端子の緩み、配線の断線・損傷の確認		
10	各スイッチ類	通報機は警戒位置、運転スイッチは自動位置		

④ 自家発電機の点検

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	発電機盤内の点検	破損・異音・異臭・汚れ等		
2	燃料タンク	燃料は入っているか		
3	オイル・冷却水	規定量まで入っているか		
4	バッテリーの状態	膨らみ・傷・漏液等		
6	発電機試運転	エンジンのかかり具合等異常はないか		

⑤ 施錠と記録（共通）

No.	点検内容	チェック	記事欄
1	消灯・施錠は確実に行ったか		
2	異常個所については写真撮影（黒板に施設名・異常個所名・点検日を記録）		

⑥ 自家発電機起動用バッテリー盤

項目	定格	計器値
充電電圧		
バッテリー電圧		
交流電流計電流値		
電圧（S-T）		
周波数		

項目	定格	計器値
エンジン冷却水温度		
エンジン潤滑油温度		
回転数		
潤滑油（kg/cm ² ）		

自家発運転時間計

今月	
前月	
運転時間	

スイッチの投入確認

種類	確認	種類	確認
自動「入」		試験「切」	
負荷商用「入」		負荷発電「切」	

⑦ 各数値の記録

室内温度

電気室	
ポンプ室	

水道メーター値

今月	
前月	
使用量	

電力計交換 交換日： 年 月 日

旧メーター	-	=	合計
新メーター	-	=	

ポンプの運転時間

項目	No. 1ポンプ	No. 2ポンプ	No. 3ポンプ
今月の値			
前月の値			
運転時間			
負荷電流値			

受電盤：1号機試運転時

項目	計器値
B-1 電圧	
B-2 電圧	
B-3 電圧	
B-4 電圧	

ポンプの運転回数

項目	No. 1ポンプ	No. 2ポンプ	No. 3ポンプ
今月の値			
前月の値			
運転回数			

電力会社取引電力量

項目	動力（200V）	電灯（100V）
今月		
前月		
使用量		

⑧ 緊急対応・臨時作業

日付	受信時間	区分	異常内容	記事欄

有	<input type="checkbox"/>
無	<input type="checkbox"/>

⑨ 記事欄

.....

.....

.....

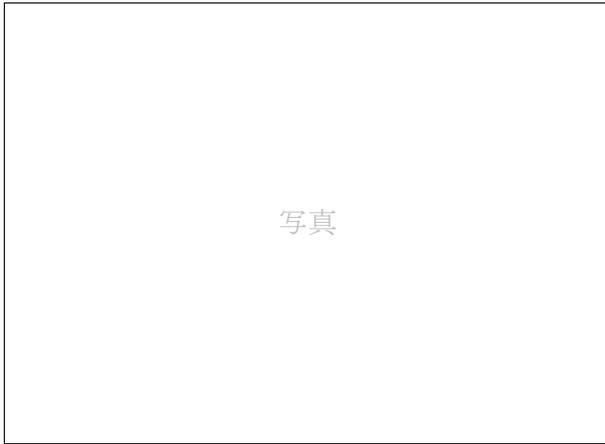
.....

.....

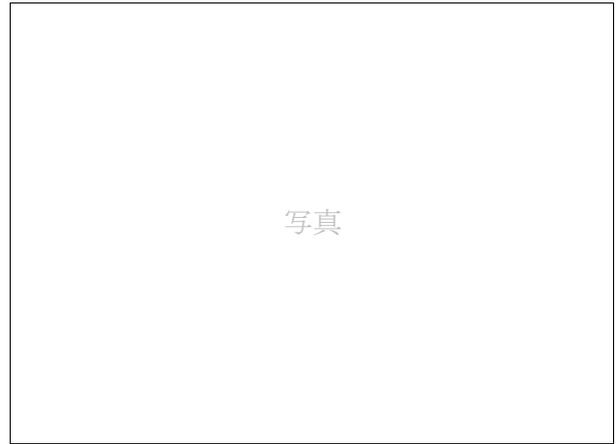
⑩ 交換整備記録

月 日	業務名

⑪ 状況写真



写真



写真

通常点検状況



写真



写真



写真



写真

業 務 日 報 (通 常 点 検)

施設名：山本真空ポンプ所

点検日 令和 年 月 日

① 施設周囲の目視点検（共通）

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄	凡例			
					良好状態 不良状態	○ ×	処置済 経過観察	▲ △
1	マンホール蓋付近	陥没・蓋の破損・溢水の有無・蓋鳴り・摩耗						
2	現場制御盤外部・周囲	陥没・破損・倒壊等の有無、塗装部剥がれ						
3	引込柱・引込線・周囲	陥没・破損・倒壊・線に異物の付着の有無						
4	取引計器盤・保安器箱	破損等の有無及び電力計値の記録						
5	建屋の外観	フード・窓・ドアの破損等の有無						

② 現場制御盤内部及び機器の点検（共通）

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	盤内の汚損状態	塵・埃・破損等の有無（汚れている場合は清掃）		
2	電源の投入状態	電圧計（200V±10%）を確認、自家発電切替インターロック確認		
3	操作スイッチ類	取付状態・損傷等の有無、各ブレーカーの投入状態確認		
4	電流計	定格電流値と負荷電流値の確認及び記録		
5	アワーメーター	運転時間・回数の確認及び記録		
6	自動通報機	電源の投入状態の確認、通報状態の確認、破損等の有無		
7	電話機	通話状態の確認、破損等の有無		
8	配線・端子台の状態	端子の緩み、配線の断線・損傷の確認		
9	各スイッチ類	通報機は警戒位置、運転スイッチは自動位置		
10	記録計	動作確認・用紙の交換		

③ 施錠と記録（共通）

No.	点検内容	チェック	記事欄
1	消灯・施錠は確実に行ったか		
2	異常個所については写真撮影（黒板に施設名、異常個所名、点検日を記入）を行う		

④ 真空ポンプ所

(1) ポンプ室建屋内の点検

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	室内の設備及び機材	破損・異音・異臭等がないか		
2	照明器具の状態	破損・球切れがないか		
3	パネルヒーター	故障・設定温度の確認		
4	配管及び集水タンク	漏れ・破損がないか		
5	電灯分電盤	損傷・断線・変色・異臭・スイッチの確認		
6	1階の吸気ファン・電動シャッター	動作確認		
7	地階の吸気ファン・モーターダンパー	動作確認		
8	排気ファン・電動シャッター	動作確認		

(2) 真空ポンプの点検及び動作確認

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	ポンプ	破損・異音・異臭等がないか		
2	スイッチの投入状態	自動・連動位置になっているか		
3	真空吸込み管	チャッキバルブ・損傷・接続部の緩みまたは漏れがないか		
4	封水及び真空圧	異常の有無		

(3) 圧送ポンプの点検及び動作確認

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	ポンプ	破損・異音・異臭等がないか		
2	スイッチの投入状態	自動・連動位置になっているか		
3	吐出管	チャッキバルブ・損傷・接続部の緩みまたは漏れがないか		

(4) 封水タンクの点検及び動作確認

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	循環ポンプ、ファン	破損・異音・異臭等がないか		
2	封水タンク	水量の確認、漏れ・破損がないか		
3	水道管	チャッキバルブ・損傷・接続部の緩みまたは漏れがないか		
4	スイッチの投入状態	自動・連動位置になっているか		
5	脱臭装置	損傷、漏れ、異臭等がないか		

(5) 雑排水設備の点検確認

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	雑排水ポンプ	動作確認、破損・異音・振動がないか		
2	雑排水槽内	異物・破損等がないか		
3	チャッキ弁・バルブポンプ	揚水の確認、損傷がないか		
4	フリクトスイッチの投入状態	動作確認、破損等がないか		
5	キャブタイヤケーブル	被覆の亀裂、断線等がないか		

(6) 集水タンクの点検

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	集水タンク外部	破損・漏れ等がないか		
2	水位計（電極棒）	脱落・破損・汚れ等がないか		
3	各バルブ	動作・開閉確認、損傷がないか		
4	真空圧ゲージ	真空圧が正常か、破損等がないか		
5	集水タンク内部	浮遊物・内壁の汚れ		

(7) 流量計の点検

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	変換器	電源の投入状態の確認、損傷等がないか		

⑤ 各数値の記録

電力計の値

	動力 (200V)	電灯 (100V)
今月		
前月		
使用量		

圧送積算量 (m³)

今月	
前月	
圧送量	

水道メーター値

今月	
前月	
使用量	

真空ポンプの運転時間

区分	No. 1ポンプ	No. 2ポンプ	No. 3ポンプ
今月			
前月			
運転時間			

圧送ポンプの運転時間

区分	No. 1ポンプ	No. 2ポンプ
今月		
前月		
運転時間		

負荷電流値		
-------	--	--

電力計交換 交換日 : 年 月 日

新メーター	-	=	合計
旧メーター	-	=	

⑥ 緊急対応・臨時作業

日付	受信時間	区分	異常内容	記事欄

有	<input type="checkbox"/>
無	<input type="checkbox"/>

⑦ 記事欄

.....

.....

.....

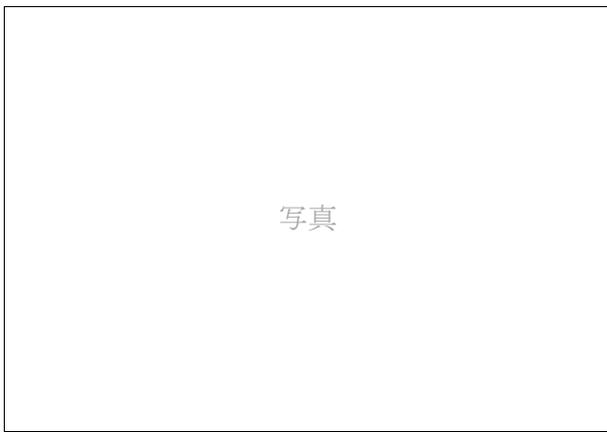
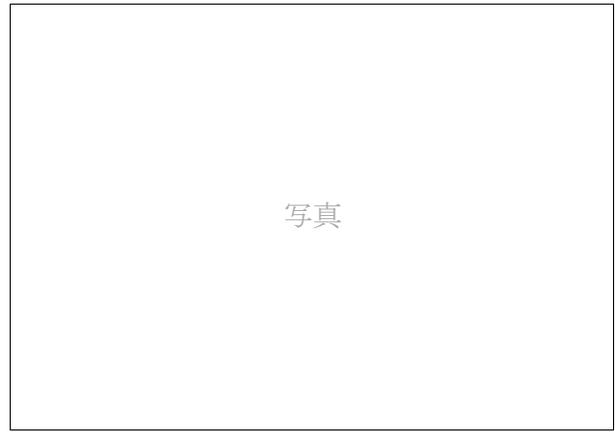
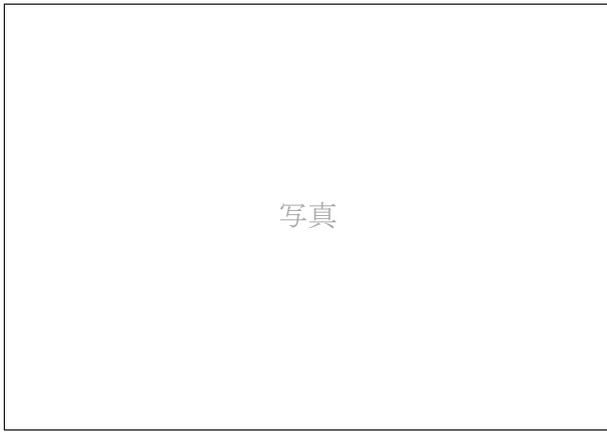
.....

⑧ 状況写真

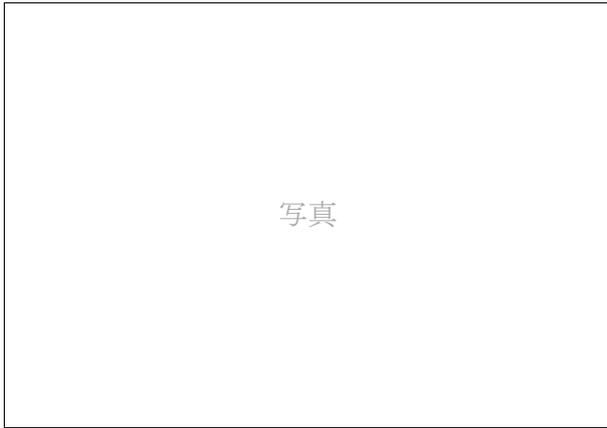


安全対策状況





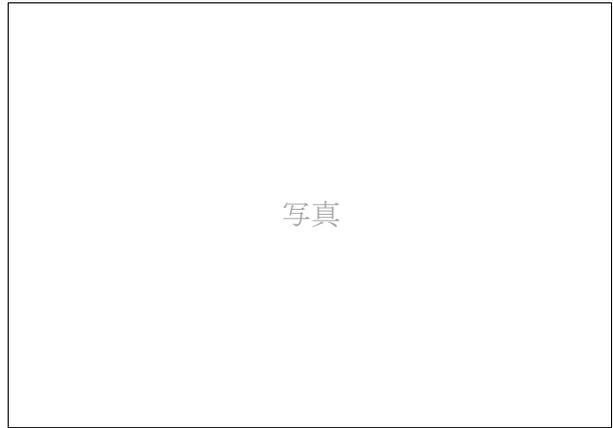
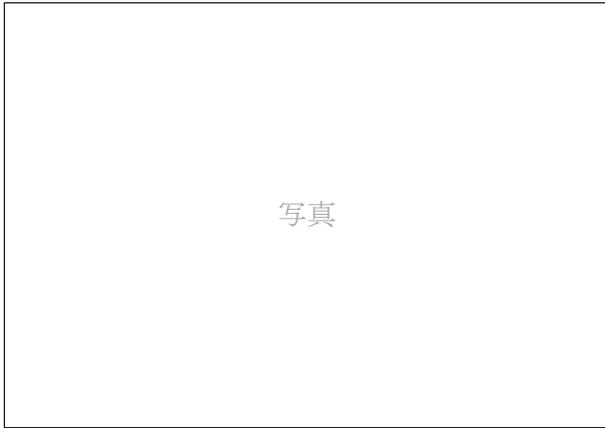
⑦ 状況写真

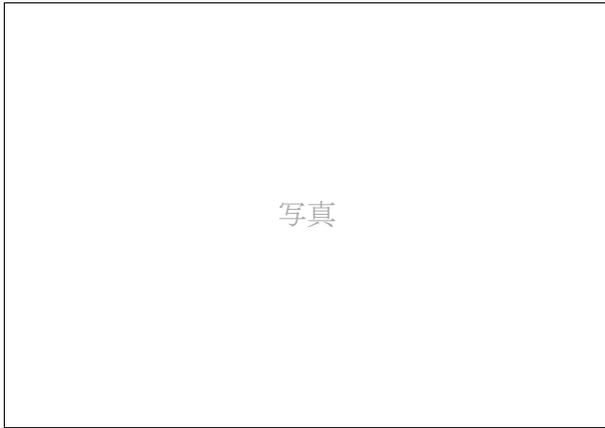


安全対策状況



⑨ 状況写真











No.

業 務 日 報 (年 次 点 検)

点検日 令和 年 月 日

施設名：	設置年月	方式	圧送管距離
------	------	----	-------

① 施設周囲の目視点検（共通）

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄	凡例	良好状態	○	処置済	▲	清掃済	◎
						不良状態	×	経過観察	△		
1	マンホール蓋付近	陥没・蓋の破損・溢水の有無・蓋鳴り・摩耗									
2	現場制御盤外部・周囲	陥没・破損・倒壊等の有無、塗装部剥がれ									
3	引込柱・引込線・周囲	陥没・破損・倒壊・線に異物付着の有無									
4	制御盤アーム・固定バンド	アーム・バンドの破損、ボルトの緩みの有無									
5	取引計器盤・保安器箱	破損等の有無、電流値の確認及び記録									

② 制御盤（共通）

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	配線・接続端子部	損傷の有無、端子の緩みはないか		
2	電圧計	受電圧計～規定電圧はあるか（200V）±10%記録		
3	電流計	負荷電流・無負荷電流値、記録と動作確認		
4	警報ランプ	ランプの点灯、球切れ、復帰ボタンの確認		
5	電磁接触器・リレー類	動作確認、接点に不良はないか		
6	盤内部の清掃	塵・埃・破損等の有無（汚れている場合は清掃）		
7	発電機の接続	接続後の負荷試験		
8	計装設備点検 （3年周期/箇所）	目視点検及び清掃（中継箱、電源箱含む）		
		実圧試験（実圧試験値は別項記録）		
		入出力特性試験		
		ベロフラム・封入液・避雷素子の交換（全施設の1/3相当台数）		

③ マンホール内部の設備等の点検

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	マンホール内部	直立管・ステップの損傷・浸入水の有無		
2	中間フロア	破損の有無		
3	ケーブル接続キット	損傷・亀裂等の有無		
4	バルブ・エア抜き弁	損傷・動作確認・給油等（チャッキ弁含む）		
5	吐出管、配管	損傷・接続部からの漏れ等の有無		
6	ガイドスタンド・ガイドレール	損傷、腐食等の有無・設置状態（フランジからの漏れ）		
7	フリクトスイッチ	損傷の有無、動作確認		
8	防波板	損傷の有無、ボルトの緩み		
9	予旋回槽ブロック	破損等の有無		
10	釜場	浮遊物・堆積物・スカム等の有無		

④ 水位計（警報設定機）実圧試験値

点検日 令和 年 月 日

項目	機器名	位置	設置時設定値		本年度実圧値	
			mm	%	mm	%
ポンプ運転水位	警報設定機(1)	H ON				
ポンプ停止水位	警報設定機(1)	L ON				
マンホール水位高	警報設定機(2)	LL ON				

⑤ 部品交換記録

交換年月日	部品名	仕様	数量	記事欄

⑥ ポンプ本体の点検及び測定記録

		凡例	良好状態 不良状態	○ ×	処置済 経過観察	▲ △	清掃済	◎
		測定項目			前年度	本年度		
1 号 機	ポンプ形式	受電電圧 (R~S)						
	定格電流	無負荷電流値 (A)						
	出力	負荷電流値 (A)						
	製造番号	絶縁抵抗値		U				
	入替年月日			V				
	製造番号 (新)			W				
	本年点検時運転時間値	オイル交換量						
	前年点検時運転時間値	クリアランス測定値						
点検間運転時間	クリアランス調整値							

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	外部の点検清掃	損傷・腐食の有無、清掃		
2	ケーブルの点検	被覆の亀裂・損傷の有無		
3	浸水室の点検	汚水・オイルの混入はないか		
4	オイル交換	汚水などの混入の有無		
5	ギャップ測定	ケーシングと羽根車 (広い場合はシムにて調整)		
6	ケーシング内部	損傷・腐食・摩耗の有無		
7	羽根車	損傷・摩耗・異物の絡み等の有無		
8	ベアリング	異音の有無		
9	絶縁抵抗測定	絶縁抵抗の測定		

		測定項目	前年度	本年度
2 号 機	ポンプ形式	受電電圧 (R~S)		
	定格電流	無負荷電流値 (A)		
	出力	負荷電流値 (A)		
	製造番号	絶縁抵抗値		U
	入替年月日			V
	製造番号 (新)			W
	本年点検時運転時間値	オイル交換量		
	前年点検時運転時間値	クリアランス測定値		
点検間運転時間	クリアランス調整値			

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	外部の清掃点検	損傷・腐食の有無、清掃		
2	キャブタイヤケーブル	被覆の亀裂・損傷の有無		
3	浸水室	汚水・オイルの混入はないか		
4	オイル交換	汚水などの混入の有無		
5	ギャップ測定	ケーシングと羽根車 (広い場合はシムにて調整)		
6	ケーシング内部	損傷・腐食・摩耗の有無		
7	羽根車	損傷・摩耗・異物の絡み等の有無		
8	ベアリング	異音の有無		
9	絶縁抵抗測定	絶縁抵抗の測定		

⑦ 施錠と記録 (共通)

No.	点検内容	チェック	記事欄
1	施錠は確実に行ったか		
2	異常箇所については写真撮影 (黒板に施設名、異常箇所名、点検日を記入) を行う		

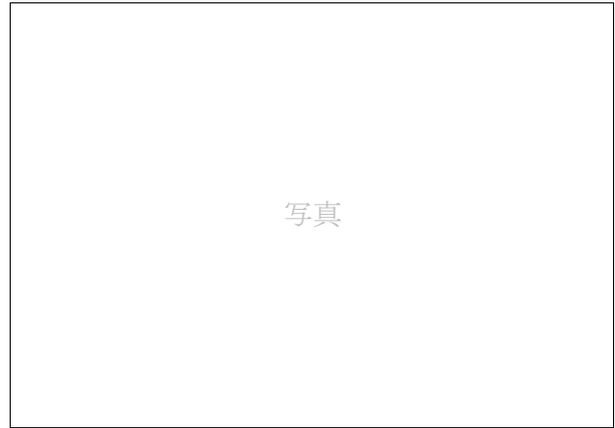
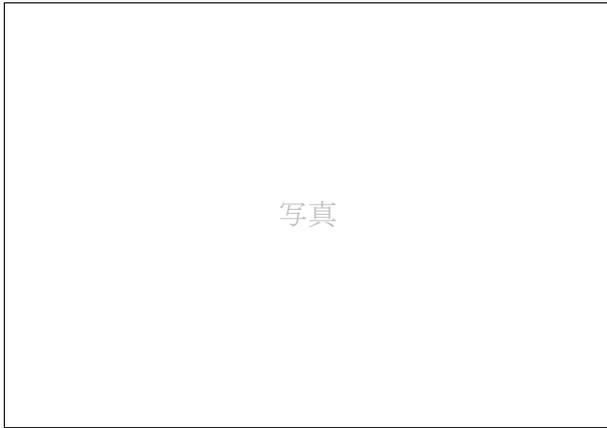
⑧ 記事欄

.....

.....

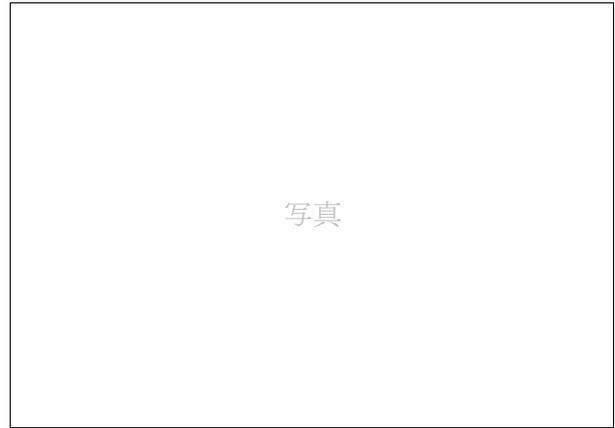
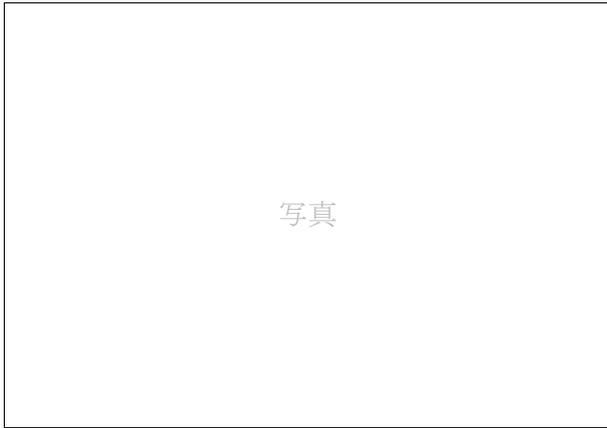
.....

⑨ 状況写真



安全対策状況





No. 2

業 務 日 報 (年 次 点 検)

点検日 令和 年 月 日

施設名： もみじ台マンホールポンプ所	設置年月	方式	圧送管距離
	平成元年 9 月	圧送	147m

① 施設周囲の目視点検（共通）

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄	凡例	良好状態	○	処置済	▲	清掃済	◎
						不良状態	×	経過観察	△		
1	マンホール蓋付近	陥没・蓋の破損・溢水の有無・蓋鳴り・摩耗									
2	現場制御盤外部・周囲	陥没・破損・倒壊等の有無、塗装部剥がれ									
3	引込柱・引込線・周囲	陥没・破損・倒壊・線に異物付着の有無									
4	取引計器盤・保安器箱	破損等の有無、電流値の確認及び記録									

② 制御盤（共通）

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	配線・接続端子部	損傷の有無、端子の緩みはないか		
2	電圧計	受電圧計～規定電圧はあるか（200V）±10%記録		
3	電流計	負荷電流・無負荷電流値、記録と動作確認		
4	警報ランプ	ランプの点灯、球切れ、復帰ボタンの確認		
5	電磁接触器・リレー類	動作確認、接点に不良はないか		
6	盤内部の清掃	塵・埃・破損等の有無（汚れている場合は清掃）		
7	発電機の接続	接続後の負荷試験		
8	計装設備点検 （3年周期/箇所）	目視点検及び清掃（中継箱、電源箱含む）		
		実圧試験（実圧試験値は別項記録）		
		入出力特性試験		
		ベロフラム・封入液・避雷素子の交換（全施設の1/3相当台数）		

③ マンホール内部の設備等の点検

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	マンホール内部	直立管・ステップの損傷・浸入水の有無		
2	中間フロア	破損の有無		
3	ケーブル接続キット	損傷・亀裂等の有無		
4	バルブ・エア抜き弁	損傷・動作確認・給油等（チャッキ弁含む）		
5	吐出管、配管	損傷・接続部からの漏れ等の有無		
6	ガイドスタンド・ガイドレール	損傷・腐食等の有無・設置状態（フランジからの漏れ）		
7	フリクトスイッチ	損傷の有無、動作確認		
8	防波板	損傷の有無、ボルトの緩み		
9	予旋回槽ブロック	破損等の有無		
10	釜場	浮遊物・堆積物・スカム等の有無		

④ 水位計（警報設定機）実圧試験値

点検日 令和 年 月 日

項目	機器名	位置	設置時設定値		本年度実圧値	
			mm	%	mm	%
ポンプ運転水位	警報設定機(1)	H ON				
ポンプ停止水位	警報設定機(1)	L ON				
マンホール水位高	警報設定機(2)	LL ON				

⑤ 部品交換記録

交換年月日	部品名	仕様	数量	記事欄

⑥ ポンプ本体の点検及び測定記録

	凡例	良好状態	○	処置済	▲	清掃済	◎
		不良状態	×	経過観察	△		
1 号 機	ポンプ形式			測定項目	前年度	本年度	
	定格電流			受電電圧 (R~S)			
	出力			無負荷電流値 (A)			
	製造番号			負荷電流値 (A)			
	入替年月日			絶縁抵抗値	U		
	製造番号 (新)				V		
	本年点検時運転時間値				W		
	前年点検時運転時間値			オイル交換量			
点検間運転時間			クリアランス測定値				

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	外部の点検清掃	損傷・腐食の有無、清掃		
2	ケーブルの点検	被覆の亀裂、損傷の有無		
3	浸水室の点検	汚水・オイルの混入はないか		
4	オイル交換	汚水等の混入の有無		
5	ギャップ測定	広い場合にはシムにて調整		
6	ケーシング内部	損傷、腐食、摩耗の有無		
7	羽根車	損傷、摩耗、異物の絡み等の有無		
8	ベアリング	異音の有無		
9	絶縁抵抗測定	測定値の記録		

2 号 機	ポンプ形式			測定項目	前年度	本年度
	定格電流			受電電圧 (R~S)		
	出力			無負荷電流値 (A)		
	製造番号			負荷電流値 (A)		
	入替年月日			絶縁抵抗値	U	
	製造番号 (新)				V	
	本年点検時運転時間値				W	
	前年点検時運転時間値			オイル交換量		
点検間運転時間			クリアランス測定値			

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	外部の点検清掃	損傷・腐食の有無、清掃		
2	ケーブルの点検	被覆の亀裂、損傷の有無		
3	浸水室の点検	汚水・オイルの混入はないか		
4	オイル交換	汚水等の混入の有無		
5	ギャップ測定	広い場合にはシムにて調整		
6	ケーシング内部	損傷、腐食、摩耗の有無		
7	羽根車	損傷、摩耗、異物の絡み等の有無		
8	ベアリング	異音の有無		
9	絶縁抵抗測定	測定値の記録		

⑦ 施錠と記録 (共通)

No.	点検内容	チェック	記事欄
1	消灯・施錠は確実に行ったか		
2	異常個所については写真撮影 (黒板に施設名、異常個所名、点検日を記入) を行う		

⑧ 記事欄

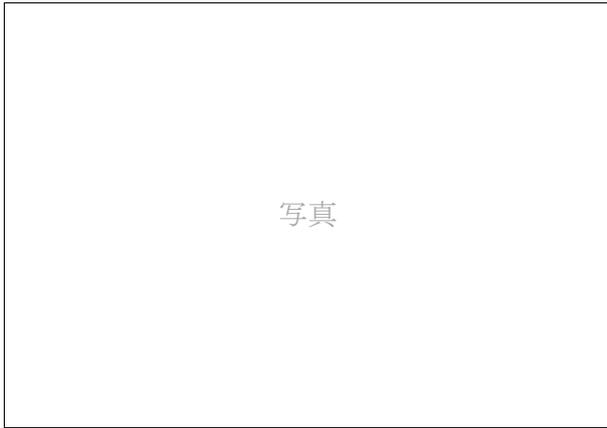
.....

.....

.....

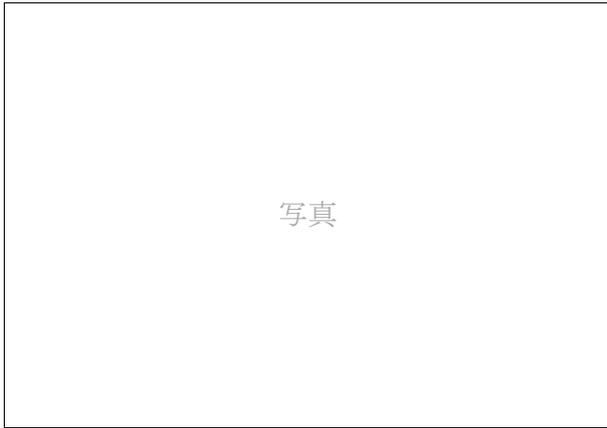
.....

⑨ 状況写真



安全対策状況





自家発電装置点検（年次）

点検日 令和 年 月 日
 設置年月 平成元年 9 月

① 点検項目等

凡例	良好状態 ○	処置済 ▲	清掃済 ◎
	不良状態 ×	経過観察 △	

No.	区分	点検個所	点検内容	チェック	記事欄
1	外観点検	設置場所	水の浸透等有無点検		
2			周囲の整理整頓状況点検		
3			区画・隔壁等破損の有無点検		
4		換気の状態	自然換気・強制換気の区別及び機能点検		
5		排気筒	変形・損傷などの有無		
6			周囲の整理整頓状況点検		
7			貫通部の良否点検		
8		照明	設置されている照明の機能点検		
9		始動装置	バッテリー電解液有無・比重等		
10			電圧確認		
11			圧縮（始動）空気層		
12		燃料・冷却水	燃料油量（定格2hr運転満足要）		
13			冷却水量（定格1hr運転満足要）		
14	機能点検	内燃機関	負荷回転速度		
15		発電機	負荷・電圧・周波数		
16	作動点検 及び 総合点検	始動装置	自動始動の動作点検		
17			水・油・ガス漏れ及各圧力温度点検		
18		運転	運転中の排気色（目視）		
19			運転中各部の振動点検		
20		停止状況	機関各外部のボルトナットゆるみ及外観点検		
21			停止ボタン操作による停止状況		
22	接地抵抗	測定			
23	絶縁抵抗	測定（半導体使用部は除外する）			

バッテリーの電圧測定

管理値：2.23V±0.1V

電圧 (cell)	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12

良否判定

バッテリーの仕様

型式	
製造業者	
製造年月日	
セル数	

特記事項

.....

.....

.....

.....

② 記事欄

.....

.....

.....

.....

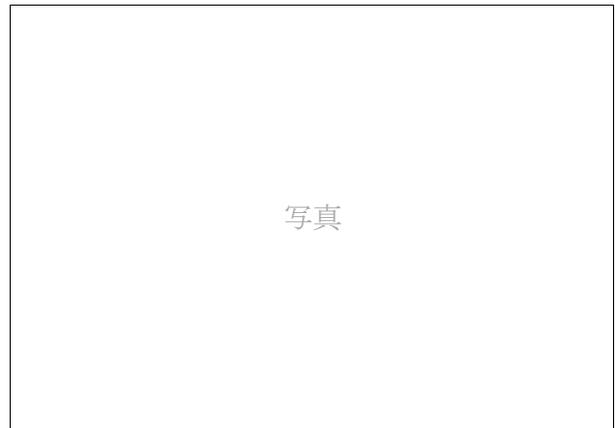
.....

.....

③ 状況写真



安全対策状況



業 務 日 報 (年 次 点 検)

点検日 令和 年 月 日

施設名：藻岩下第2中継ポンプ場	設置年月	平成 12 年 4 月
-----------------	------	-------------

① 施設周囲の目視点検 (共通)

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄	凡例			
					良好状態 不良状態	○ ×	処置済 経過観察	▲ △
1	マンホール蓋付近	陥没、蓋の破損、溢水の有無						
2	引込柱、引込線、周囲	陥没、破損、倒壊、線に異物の付着の有無						
3	取引計器盤、保安器	破損等の有無						
4	雨量計の状態	損傷の有無の確認、内部の清掃						

② 建屋内部および機器の点検 (共通)

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	室内設備・機材	破損、異音、異臭等		
2	照明器具	破損、球切れ、異臭等		
3	水道管	損傷、水漏れ等 (冬季は水抜き)		
4	電灯分電盤	損傷、断線、変色、異臭、スイッチ等		
5	吐出管・チャッキ弁	損傷、チャッキバルブ、接続部の緩み、漏れ等		

③ 現場制御盤内部及び機器の点検 (共通)

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	盤内の汚損状態	塵・埃・破損等の有無 (汚れている場合は清掃)		
2	電源の投入状態	電圧計(200V)±10%を確認・自家発電切替インターロックの確認		
3	操作スイッチ類	破損・各ブレーカーの投入状態の確認		
4	水位計	水位指示計の動作確認、警報設定機の動作確認		
5	電流計	電流値の確認及び記録		
6	アワーメーター	運転時間の確認		
7	自動通報機	電源の投入状態・通報状態の確認・破損等の有無		
8	電話機	通話状態の確認・破損等の有無		
9	配線、端子台の状態	端子の緩み・配線の断線・配線の損傷		
10	各スイッチ類	通報機は警戒位置・運転スイッチは自動位置		

④ 施錠と記録 (共通)

No.	点検内容	チェック	記事欄
1	消灯・施錠は確実に行ったか		
2	異常個所については写真撮影 (黒板に施設名・異常個所名・点検日を記録)		

⑤ ゲート設備の点検

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	流入ゲート (電動)	外観点検 (開度計の作動状態、現場ランプ)		

⑥ 各ポンプの点検

凡例	良好状態 ○	処置済 ▲	清掃済 ◎
	不良状態 ×	経過観察 △	

1号機	ポンプ形式		製造番号		本年点検時運転時間値		
	出力		新設運転時間値		前年点検時運転時間値		
	定格電流		総運転時間		点検間運転時間		
測定項目	前年度	本年度	No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
受電電圧 (R~S)			1	外部の点検清掃	損傷・腐食の有無、清掃		
負荷電流値 V			2	キャブタイヤケーブル	被覆の亀裂、損傷の有無		
無負荷電流値 V			3	浸水室の点検	汚水・オイルの混入はないか		
絶縁抵抗値	U		4	オイル交換	汚水等の混入の有無		
	V		5	ケーシング内部	損傷、腐食、摩耗の有無		
	W		6	羽根車	損傷、摩耗、異物の絡み等の有無		
オイル交換量			7	ベアリング	異音の有無		
クリアランス測定値			8	絶縁抵抗測定	測定値の記録		
クリアランス調整値							

2号機	ポンプ形式		製造番号		本年点検時運転時間値		
	出力		新設運転時間値		前年点検時運転時間値		
	定格電流		総運転時間		点検間運転時間		
測定項目	前年度	本年度	No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
受電電圧 (R~S)			1	外部の点検清掃	損傷・腐食の有無、清掃		
負荷電流値 V			2	キャブタイヤケーブル	被覆の亀裂、損傷の有無		
無負荷電流値 V			3	浸水室の点検	汚水・オイルの混入はないか		
絶縁抵抗値	U		4	オイル交換	汚水等の混入の有無		
	V		5	ケーシング内部	損傷、腐食、摩耗の有無		
	W		6	羽根車	損傷、摩耗、異物の絡み等の有無		
オイル交換量			7	ベアリング	異音の有無		
クリアランス測定値			8	絶縁抵抗測定	測定値の記録		
クリアランス調整値							

3号機	ポンプ形式		製造番号		本年点検時運転時間値		
	出力		新設運転時間値		前年点検時運転時間値		
	定格電流		総運転時間		点検間運転時間		
測定項目	前年度	本年度	No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
受電電圧 (R~S)			1	外部の点検清掃	損傷・腐食の有無、清掃		
負荷電流値 V			2	キャブタイヤケーブル	被覆の亀裂、損傷の有無		
無負荷電流値 V			3	浸水室の点検	汚水・オイルの混入はないか		
絶縁抵抗値	U		4	オイル交換	汚水等の混入の有無		
	V		5	ケーシング内部	損傷、腐食、摩耗の有無		
	W		6	羽根車	損傷、摩耗、異物の絡み等の有無		
オイル交換量			7	ベアリング	異音の有無		
クリアランス測定値			8	絶縁抵抗測定	測定値の記録		
クリアランス調整値							

⑦ 記事欄

.....

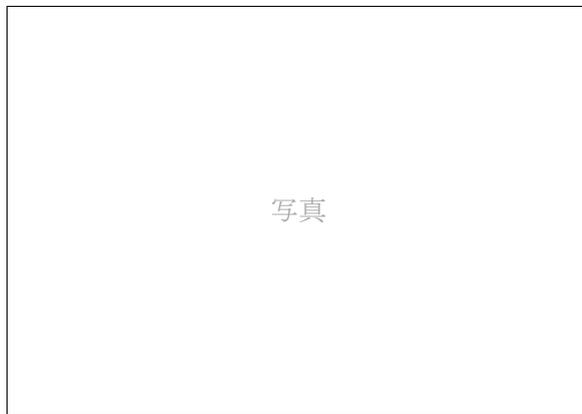
⑧ 交換整備記録

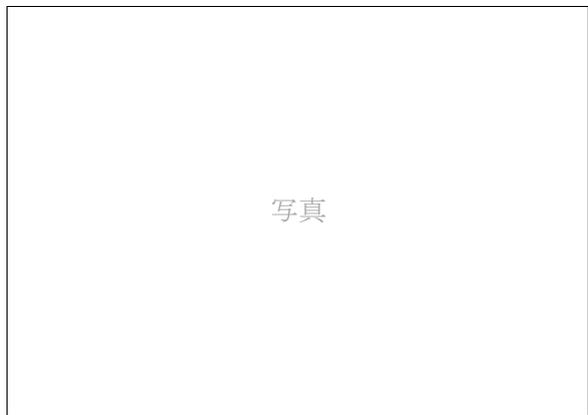
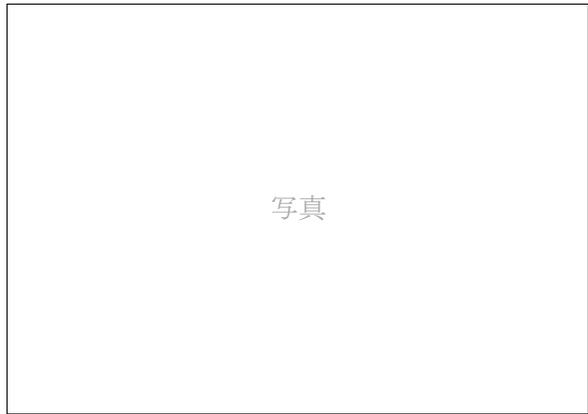
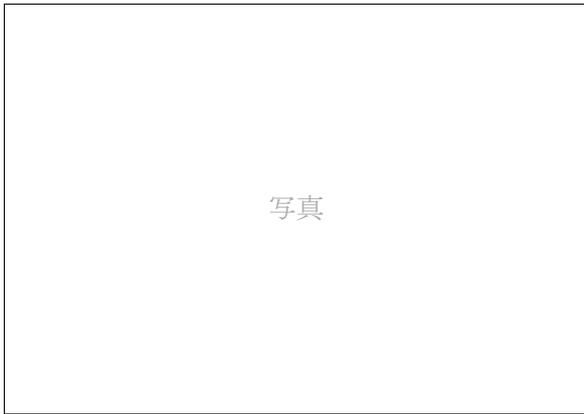
月日	業務名

⑨ 状況写真



安全対策状況





業 務 日 報 (年 次 点 検)

点検日 令和 年 月 日

施設名： 山本真空ポンプ所	設置年月	平成 6 年 3 月
---------------	------	------------

① 施設周囲の目視点検（共通）

No.	点検箇所	点検内容	凡例		処置済		清掃済	
			良好状態 ○	不良状態 ×	経過観察 △	済	済	済
1	マンホール蓋付近	陥没・蓋の破損・溢水の有無・蓋鳴り・摩耗						
2	現場制御盤外部・周囲	陥没・破損・倒壊等の有無、塗装部剥がれ						
3	引込柱・引込線・周囲	陥没・破損・倒壊・線に異物付着の有無						
4	取引計器盤・保安器箱	破損等の有無、電流値の確認及び記録						

② 現場制御盤内部及び機器の点検（共通）

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	盤内の汚損状態	塵・埃・破損等の有無（汚れている場合は清掃）		
2	電源の投入状態	電圧計（200V±10%）を確認、自家発電切替インターロック確認		
3	操作スイッチ類	取付状態・損傷等の有無、各ブレーカーの投入状態確認		
4	電流計	定格電流値と負荷電流値の確認及び記録		
5	アワーメーター	運転時間・回数の確認及び記録		
6	自動通報機	電源の投入状態の確認、通報状態の確認、破損等の有無		
7	電話機	通話状態の確認、破損等の有無		
8	配線・端子台の状態	端子の緩み、配線の断線・損傷の確認		
9	各スイッチ類	通報機は警戒位置、運転スイッチは自動位置		
10	記録計	動作確認・用紙の交換		

③ 施錠と記録（共通）

No.	点検内容	チェック	記事欄
1	消灯・施錠は確実に行ったか		
2	異常個所については写真撮影（黒板に施設名、異常個所名、点検日を記入）を行う		

④ 真空ポンプの点検及び動作確認

1 号 機	ポンプ形式	測定項目	前年度	本年度
	定格電流	受電電圧 (R~S)		
	出力	無負荷電流値 (A)		
	製造番号	負荷電流値 (A)		
	入替年月日	絶縁抵抗値	U	
	製造番号(新)		V	
	本年点検時運転時間値		W	
	前年点検時運転時間値			
点検間運転時間				

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	ポンプ	破損・異音・異臭等がないか		
2	スイッチの投入状態	自動・連動位置になっているか		
3	真空吸込み管	チャッキバルブ・損傷・接続部の緩みまたは漏れがないか		
4	封水及び真空圧	異常の有無		
5	吸込逆止弁	異常の有無		
6	キャブタイヤケーブル	キャブタイヤケーブル損傷の有無		

	凡例	良好状態	○	処置済	▲	清掃済	◎
		不良状態	×	経過観察	△		
2 号 機	ポンプ形式	測定項目		前年度	本年度		
	定格電流	受電電圧 (R~S)					
	出力	無負荷電流値 (A)					
	製造番号	負荷電流値 (A)					
	入替年月日	絶縁抵抗値		U			
	製造番号 (新)			V			
	本年点検時運転時間値			W			
	前年点検時運転時間値						
点検間運転時間							

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	ポンプ	破損・異音・異臭等がないか		
2	スイッチの投入状態	自動・連動位置になっているか		
3	真空吸込み管	チャッキバルブ・損傷・接続部の緩みまたは漏れがないか		
4	封水及び真空圧	異常の有無		
5	吸込逆止弁	異常の有無		
6	キャブタイヤケーブル	キャブタイヤケーブル損傷の有無		

3 号 機	ポンプ形式	測定項目		前年度	本年度		
	定格電流	受電電圧 (R~S)					
	出力	無負荷電流値 (A)					
	製造番号	負荷電流値 (A)					
	入替年月日	絶縁抵抗値		U			
	製造番号 (新)			V			
	本年点検時運転時間値			W			
	前年点検時運転時間値						
点検間運転時間							

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	ポンプ	破損・異音・異臭等がないか		
2	スイッチの投入状態	自動・連動位置になっているか		
3	真空吸込み管	チャッキバルブ・損傷・接続部の緩みまたは漏れがないか		
4	封水及び真空圧	異常の有無		
5	吸込逆止弁	異常の有無		
6	キャブタイヤケーブル	キャブタイヤケーブル損傷の有無		

⑤ 封水タンクの点検及び動作確認

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	タンクの点検・清掃	損傷・漏れの有無・内部の清掃		
2	配管及び水道管の点検	損傷・漏れの有無		
3	電磁弁の自動運転確認	スイッチ (自動位置) の確認		
4	循環ポンプ・ファンの自動	スイッチ (自動位置) の確認		
5	各バルブの状態	損傷・漏れの有無・開閉の確認		
6	脱臭装置の状態	損傷・漏れ・異臭の有無・開閉の確認、活性炭の交換		

絶縁抵抗値	測定項目	前年度	本年度
	封水ポンプ		
	排気ファン		

凡例	良好状態	○	処置済	▲	清掃済	◎
	不良状態	×	経過観察	△		

⑥ 圧送ポンプの点検及び動作確認

1 号 機	ポンプ形式		測定項目		前年度	本年度
	定格電流		受電電圧 (R~S)			
	出力		無負荷電流値 (A)			
	製造番号		負荷電流値 (A)			
	入替年月日			U		
	製造番号 (新)		絶縁抵抗値		V	
	本年点検時運転時間値			W		
	前年点検時運転時間値		オイル交換量			
	点検間運転時間					

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	ポンプ	破損・異音・異臭等がないか		
2	スイッチの投入状態	自動・連動位置になっているか		
3	吐出管	チャッキバルブ・損傷・接続部の緩みまたは漏れがないか		
4	吸込逆止弁	異常の有無		
5	オイルの状態	オイルの点検・交換		
6	キャブタイヤケーブル	キャブタイヤケーブル損傷の有無		

2 号 機	ポンプ形式		測定項目		前年度	本年度
	定格電流		受電電圧 (R~S)			
	出力		無負荷電流値 (A)			
	製造番号		負荷電流値 (A)			
	入替年月日			U		
	製造番号 (新)		絶縁抵抗値		V	
	本年点検時運転時間値			W		
	前年点検時運転時間値		オイル交換量			
	点検間運転時間					

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	ポンプ	破損・異音・異臭等がないか		
2	スイッチの投入状態	自動・連動位置になっているか		
3	吐出管	チャッキバルブ・損傷・接続部の緩みまたは漏れがないか		
4	吸込逆止弁	異常の有無		
5	オイルの状態	オイルの点検・交換		
6	キャブタイヤケーブル	キャブタイヤケーブル損傷の有無		

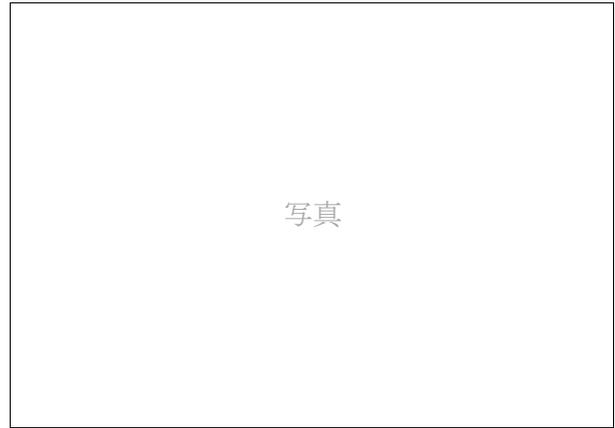
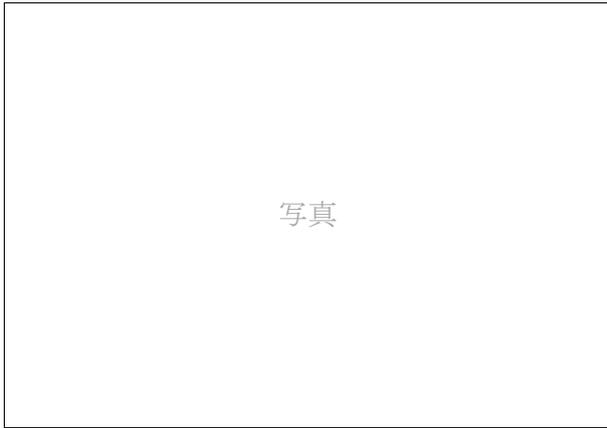
⑦ 動力制御盤絶縁抵抗測定値

設備名		前年度	本年度
1F ヒーター	U		
	V		
	W		
電動チェンブロック	U		
	V		
	W		

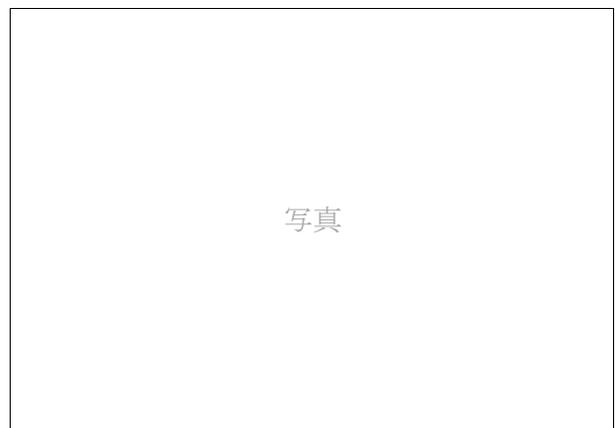
⑧ 1L-1 【電灯盤】絶縁抵抗測定値

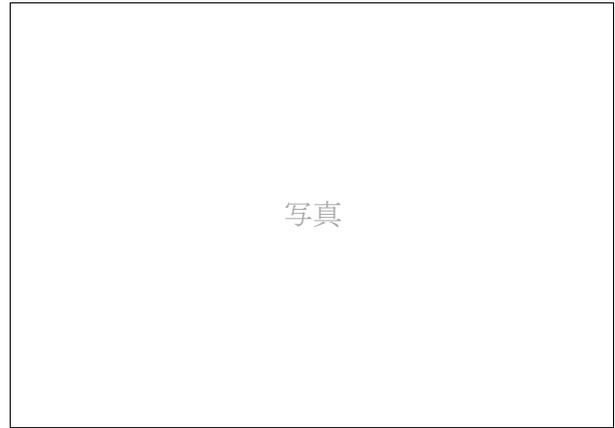
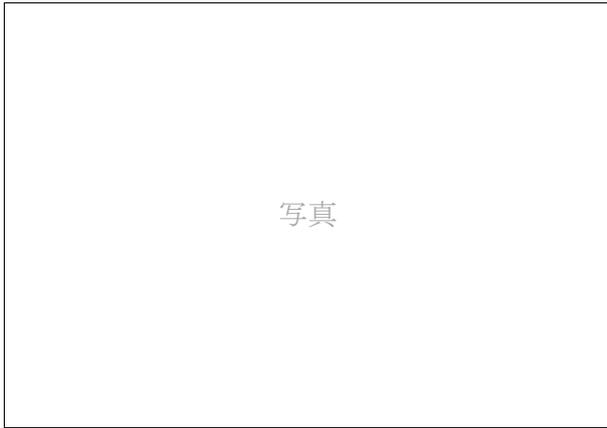
設備名	前年度	本年度
電灯A		
電灯B		
入口灯		
地下コンセント		
1階コンセント		
地下給気ファン		
1階排気ファン・シャッター		
1階吸気ファン・シャッター		

⑬ 状況写真



安全対策状況





業 務 日 報 (年 次 点 検)

点検日 令和 年 月 日

施設名： 西野3条9丁目きょう雑物除去スクリーン	設置年月	平成 25 年 2 月
--------------------------	------	-------------

① 施設周囲の目視点検（共通）

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄	凡例			
					良好状態 不良状態	○ ×	処置済 経過観察	▲ △
1	マンホール蓋付近	陥没・蓋の破損・溢水の有無・蓋鳴り・摩耗						
2	現場制御盤外部・周囲	陥没・破損・倒壊等の有無、塗装部剥がれ						
3	引込柱・引込線・周囲	陥没・破損・倒壊・線に異物付着の有無						
4	制御盤アーム・固定バンド	アーム・バンドの破損、ボルトの緩みの有無						

② 現場制御盤内部及び機器の点検（共通）

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	盤内の汚損状態	塵・埃・破損等の有無（汚れている場合は清掃）		
2	電源の投入状態	電圧計（200V±10%）を確認、自家発電切替インターロック確認		
3	操作スイッチ類	取付状態・損傷等の有無、各ブレーカーの投入状態確認		
4	水位計	水位指示計・警報設定機の動作確認		
5	電流計	定格電流値と負荷電流値の確認及び記録		
6	アワーメーター	運転時間・回数の確認及び記録		
7	配線・端子台の状態	端子の緩み、配線の断線・損傷の確認		
8	各スイッチ類	通報機は警戒位置、運転スイッチは自動位置		
9	履歴データ	作動状況の履歴データ記録を回収		

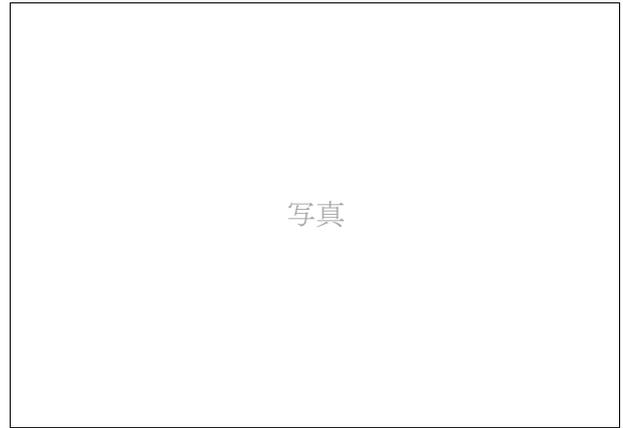
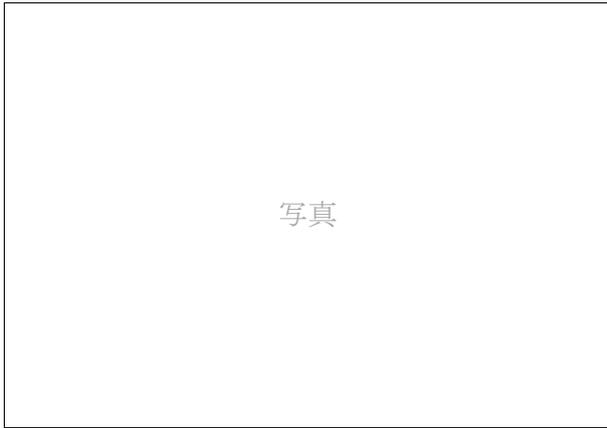
③ 施錠と記録（共通）

No.	点検内容	チェック	記事欄
1	施錠は確実に行ったか		
2	異常個所については写真撮影（黒板に施設名、異常個所名、点検日を記入）を行う		

④ スクリーン施設

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	スクリーン	外観、周囲の状況	破損箇所等が無い確認	
		かき取りの動作	手動運転により、異音・異物の有無、回転状態の確認	
		ブラシ・ディスクの摩耗、状況	ブラシの接触状態と清掃状況確認	
2	駆動装置	駆動装置のオイル交換	1回/4年	
		運転状況	金属接触音、オイル漏れ等の有無の確認	
3	制御盤	設置状況	破損箇所等が無い確認	
		内部状況	端子台の緩み、水の混入、錆等が無い確認	
		コントローラによる状態	コントローラで機器の状態を確認	
		ブレーカの動作（漏電、過電流）	テストスイッチによる動作確認	
		運転電流値	規定電流値の確認 （電動機用開閉器部分で測定）	
		運転時間の記録	運転時間データの集計	
4	水位計	水位計の外観、周囲、設置状況	破損箇所等が無い確認	





No.

業務日報 (年次点検)

点検日 令和 年 月 日

施設名：	設置年月	令和 年 月 日
------	------	----------

① 圧送・真空管路点検

凡例	良好状態 不良状態	○ ×	処置済 経過観察	▲ △	清掃済	◎
----	--------------	--------	-------------	--------	-----	---

No.	点検箇所	点検内容	チェック	記事欄
1	埋設管路部	路面（陥没）の状況、異常の有無		
2	橋梁添架部	漏水または痕跡の有無		
		支持材の異常の有無		
		管路部の異常の有無		
3	吐出人孔部	路面との据付け状況		
		躯体内の異常の有無		
		硫化水素 (H2S) 値の測定		
4	区間弁・排泥弁等	弁構造の異常の有無		

② 記事欄

③ 状況写真



安全対策状況

